

平成28年度（2016年度）

市民意識調査結果報告書



平成29年3月
南丹市企画政策部 定住・企画戦略課

I アンケート調査の概要

1	調査目的.....	1
2	調査対象.....	1
3	調査方法.....	1
4	調査期間.....	1
5	配布状況.....	1
6	調査項目.....	2

II アンケート調査結果

1	回答者の属性	3
2	市民意識調査結果	
1	南丹市は住みやすいまちだと思うか.....	8
2	今後も南丹市に住み続けたいか.....	9
3	安心して医療を受けられる体制ができていると思うか.....	10
4	高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思うか.....	11
5	障がいのある人にとって、安心して暮らせるまちだと思うか.....	12
6	安心して子育てのできるまちだと思うか.....	13
7	子どもたちが、適切な教育環境で学んでいると思うか.....	14
8	乳幼児への保育・教育が充実していると思うか.....	15
9	南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると思うか.....	16
10	南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入しているか.....	17
11	南丹市において、自然環境が適切に守られていると思うか.....	18
12	市政についての情報が的確に得られていると感じるか.....	19
13	災害に関する情報が、市からの確に発信される体制が整備されていると思うか.....	20
14	災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などを行っているか.....	21
15	防災の面で、安心して暮らせるまちだと思うか.....	22
16	性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が減っていると感じるか.....	23
17	過去1年間に、人権問題に関する勉強会などに参加したことがあるか.....	24
18	住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思うか.....	25
19-1	過去1年間で、地域活動や市民による自主的な活動に参加したか.....	26
19-2	活動の際に、NPOやボランティア団体、地域団体に参加したか.....	27
20	風俗や伝統、文化などを自分たちが引き継いでいかなければならないと思うか.....	28
21	大学などとの交流・連携が活発に行われていると思うか.....	29
22	税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思うか.....	30

目次

23) 定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきか	31
24-1) 総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどのように評価するか	33
24-2) 市政運営を評価していない理由	34
25) 将来の南丹市をどのようなまちにしたいか	35
26) もっと住みよいまちにするために、市民はどのようなことができるか	37
27) 『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができるか	39
28) 市外の人に、定住を勧めるとしたら、どんな魅力があると紹介するか	41
29-1) 南丹市の魅力を市外の人に紹介するために、具体的に何をすればよいか	43
29-2) 南丹市の魅力を市外の人に紹介するアイデア	45
30) あなたにとっての南丹市をひと言で自由に表現すると	45
31) 南丹市のまちづくりに対する提案や意見	46

《参考資料》 市民意識調査 調査票



アンケート調査の概要

1 調査目的

本調査は、南丹市総合振興計画後期基本計画を推進するに当たり、市民が日頃感じている事柄や、これからのまちづくりに対する意向など、市民意識を把握し、その結果を基に行政評価や実施計画策定の基礎資料として活用することを目的とする。

2 調査対象

南丹市に住む18歳以上の市民から2,500人を無作為に抽出

3 調査方法

郵送配布・郵送回収

4 調査期間

平成28年10月19日～平成28年11月4日

5 配布状況

年 代	性別	アンケート送付数															想定回答数
		園部			八木			日吉			美山			計			40.0%
		均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	均等割	人口割	計	
10歳代	男	20	47	67	20	23	43	20	14	34	20	12	32	80	96	176	70
	女	20	50	70	20	26	46	20	18	38	20	2	22	80	96	176	70
20歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	13	33	20	13	33	80	97	177	71
	女	20	47	67	20	24	44	20	13	33	20	13	33	80	97	177	71
30歳代	男	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
	女	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
40歳代	男	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
	女	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
50歳代	男	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
	女	20	48	68	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	100	180	72
60歳代	男	20	47	67	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
	女	20	47	67	20	24	44	20	14	34	20	14	34	80	99	179	72
70歳代 以上	男	20	47	67	20	23	43	20	14	34	20	14	34	80	98	178	71
	女	20	47	67	20	23	43	20	14	34	20	14	34	80	98	178	71
計	男	140	332	472	140	166	306	140	97	237	140	95	235	560	690	1,250	500
	女	140	335	475	140	169	309	140	101	241	140	85	225	560	690	1,250	500
合 計		280	667	947	280	335	615	280	198	478	280	180	460	1,120	1,380	2,500	1,000

	送 付 数 (A)	有効回収数 (B)	回収率 (B/A)
今回調査 (H28)	2,500通	801件	32.0%
前回調査 (H26)	2,500通	939件	37.6%

6 調査項目

1. 南丹市全般について
2. 医療・福祉について
3. 子育てについて
4. 商業や生活環境について
5. 防災や防犯について
6. 社会問題について
7. 地域活動について
8. 行政活動について
9. 南丹市の将来について
10. 自由意見・提案

※本集計結果については、端数処理の関係で各項目の割合等は必ずしも合計欄等の数値とは一致していない場合があります。



アンケート調査結果

1 回答者の属性

配布数：2,500 人 回答数：801 人（回答率 32.0%）

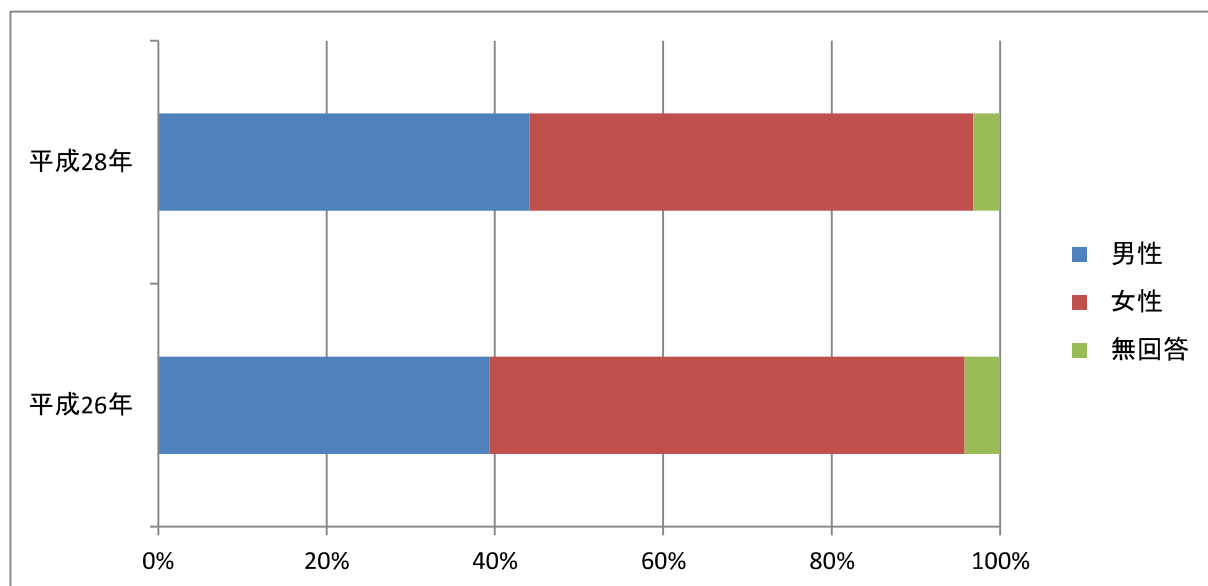
今回実施した市民意識調査の回答率は、平成 26 年度調査より 5.6 ポイント低下となりました。

男女別・年代別に見ると、男女ともに 60 歳代の回答が最も多く、10 歳代の回答が最も少なくなっています。また、平成 26 年度調査との比較では全年代の中で、10 歳代の比率が最も減少しています。

※平成 26 年度調査との比較について：

平成 27 年度調査として地方創生に関するアンケート調査を実施していますが、今回実施した市民意識調査とは設問内容が大きく異なっています。市民の意向等の経年変化を把握しやすくするため、ほとんど同様の設問内容となっている平成 26 年度実施の市民意識調査を比較対象としています。

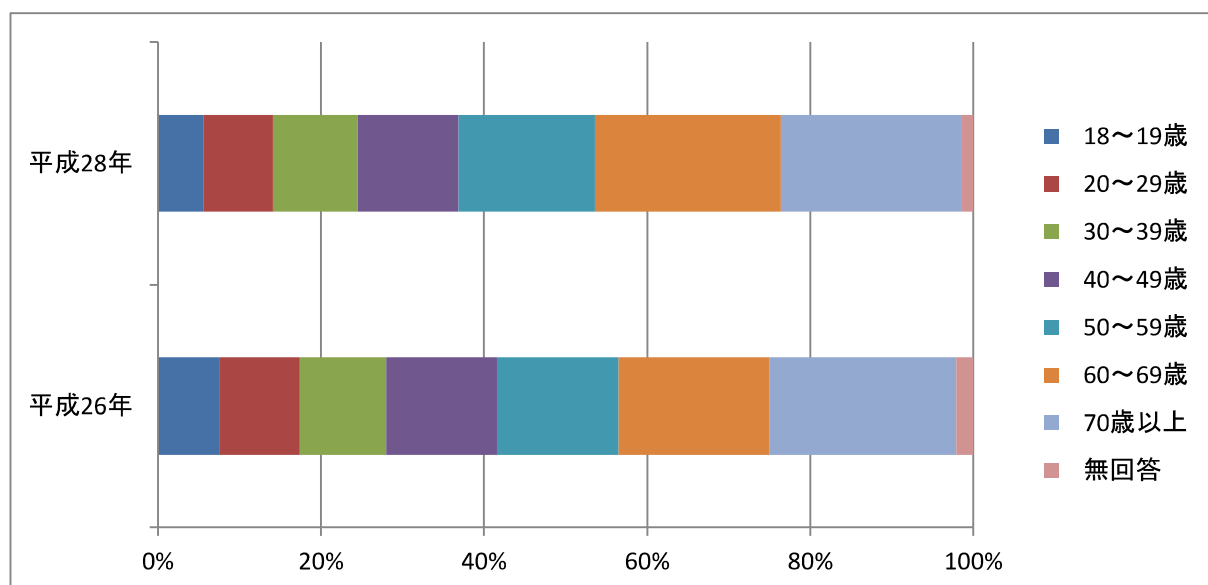
性別	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
男性	369	39.3	353	44.1
女性	531	56.5	422	52.7
無回答	39	4.2	26	3.2
合計	939	100.0	801	100.0



II アンケート調査結果

◆	年齢
---	----

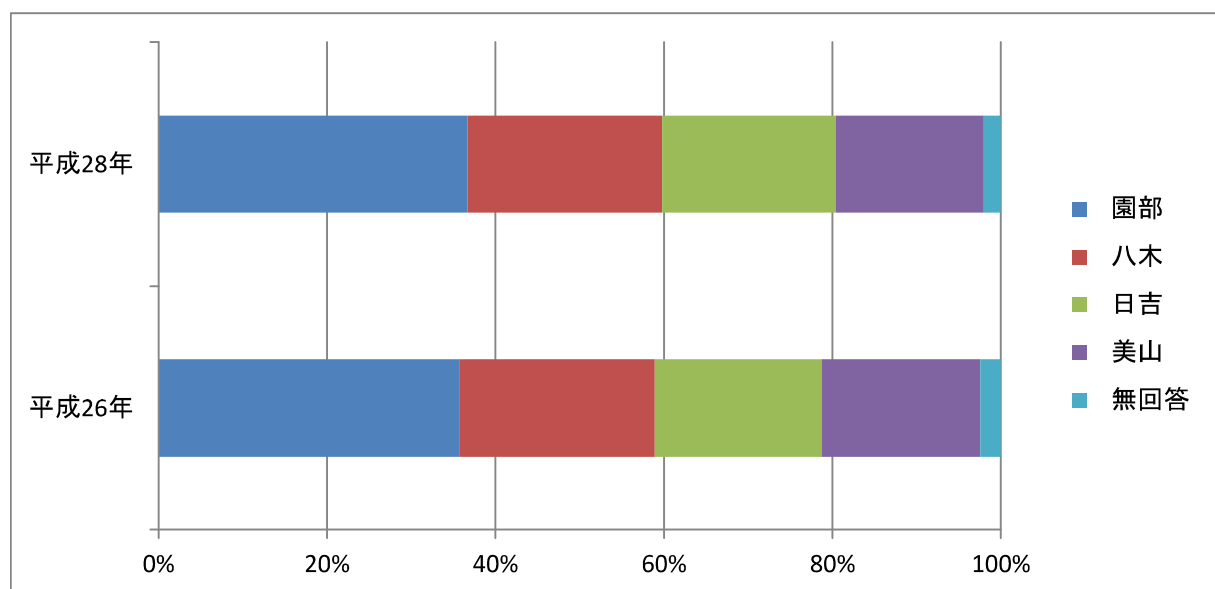
選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
18～19歳	70	7.5	45	5.6
20～29歳	93	9.9	68	8.5
30～39歳	99	10.6	83	10.4
40～49歳	128	13.6	99	12.4
50～59歳	140	14.9	134	16.7
60～69歳	174	18.5	183	22.8
70歳以上	215	22.9	177	22.1
無回答	20	2.1	12	1.5
合 計	939	100.0	801	100.0



II アンケート調査結果

住所

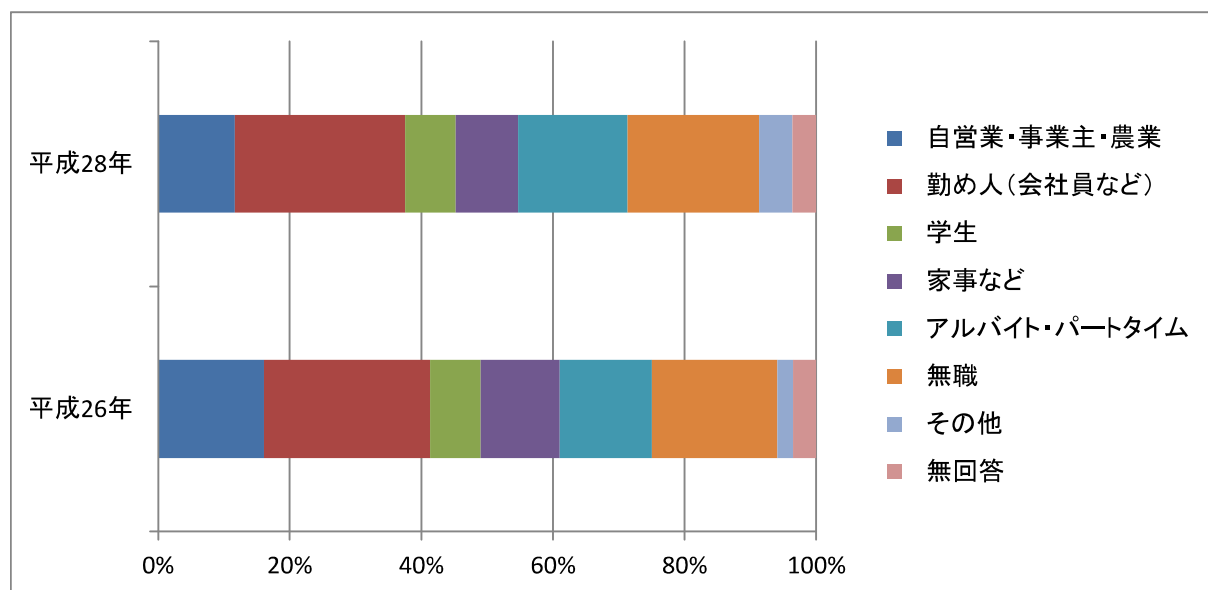
選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
園部	336	35.8	294	36.7
八木	217	23.1	185	23.1
日吉	186	19.8	165	20.6
美山	177	18.9	141	17.6
無回答	23	2.4	16	2.0
合計	939	100.0	801	100.0



II アンケート調査結果

職業

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
自営業・事業主・農業	151	16.1	94	11.7
勤め人(会社員など)	237	25.2	206	25.8
学生	72	7.7	62	7.7
家事など	113	12.0	76	9.5
アルバイト・パートタイム	131	14.0	133	16.6
無職	179	19.1	160	20.0
その他	23	2.4	41	5.1
無回答	33	3.5	29	3.6
合 計	939	100.0	801	100.0



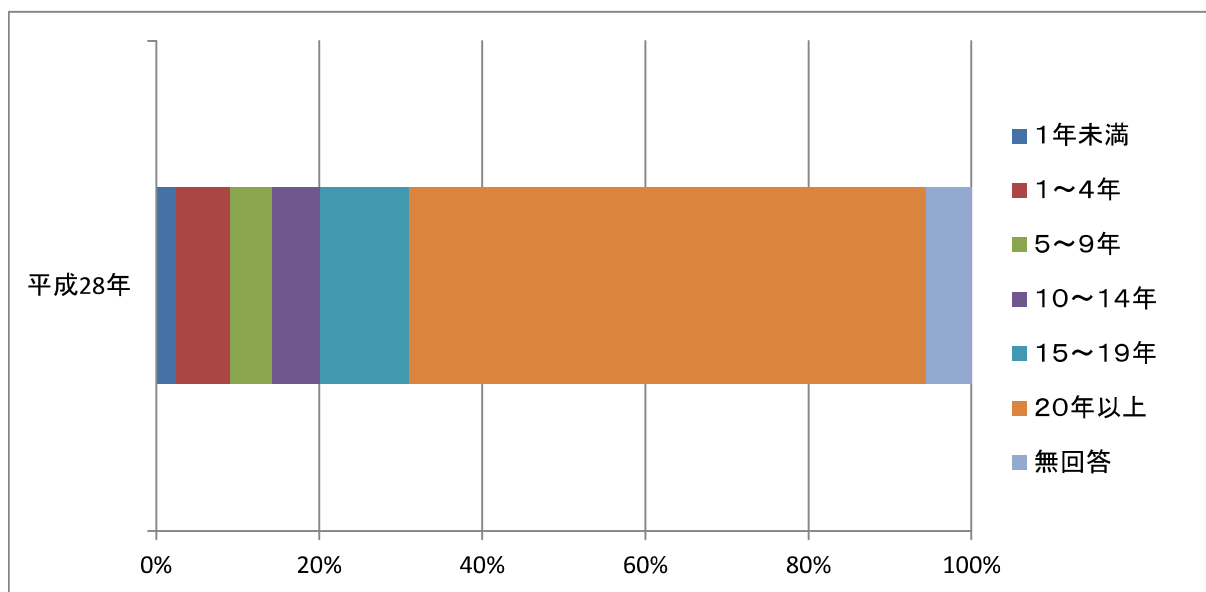
II アンケート調査結果



居住年数

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	－		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
1年未満			19	2.4
1～4年			54	6.7
5～9年			41	5.1
10～14年			47	5.9
15～19年			87	10.9
20年以上			509	63.5
無回答			44	5.5
合 計	0	0.0	801	100.0



II アンケート調査結果

2 市民意識調査結果

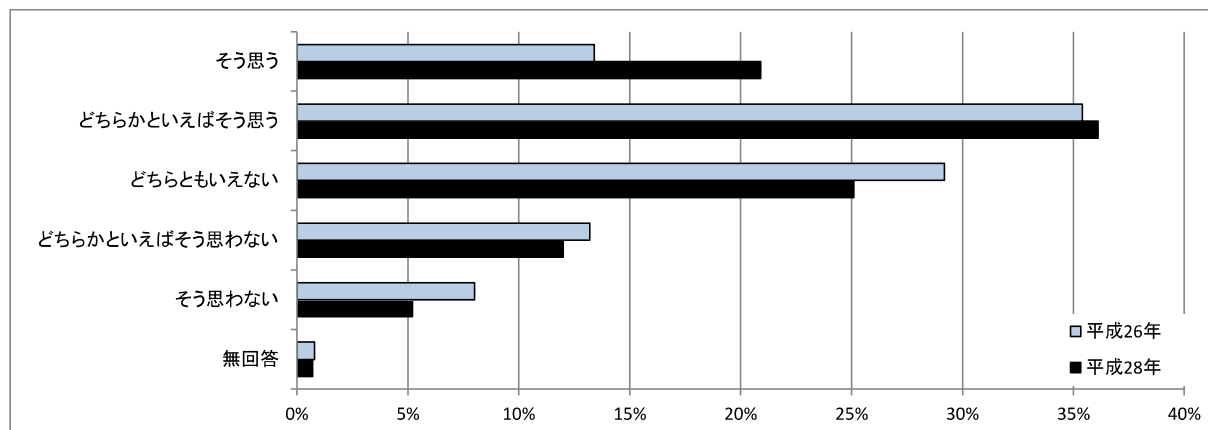
■調査結果の見方

◎この調査結果は、平成26年度に実施した同様のアンケート調査の結果を並べて比較したものです。

1

南丹市は住みやすいまちだと思いますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	126	13.4	167	20.9
どちらかといえばそう思う	332	35.4	289	36.1
どちらともいえない	274	29.2	201	25.1
どちらかといえばそう思わない	124	13.2	96	12.0
そう思わない	75	8.0	42	5.2
無回答	8	0.8	6	0.7
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数以上が南丹市は「住みやすいまち」と回答

「そう思う」が20.9%、「どちらかといえばそう思う」が36.1%と最も多く、市民の半数以上が南丹市は「住みやすいまち」と回答されています。

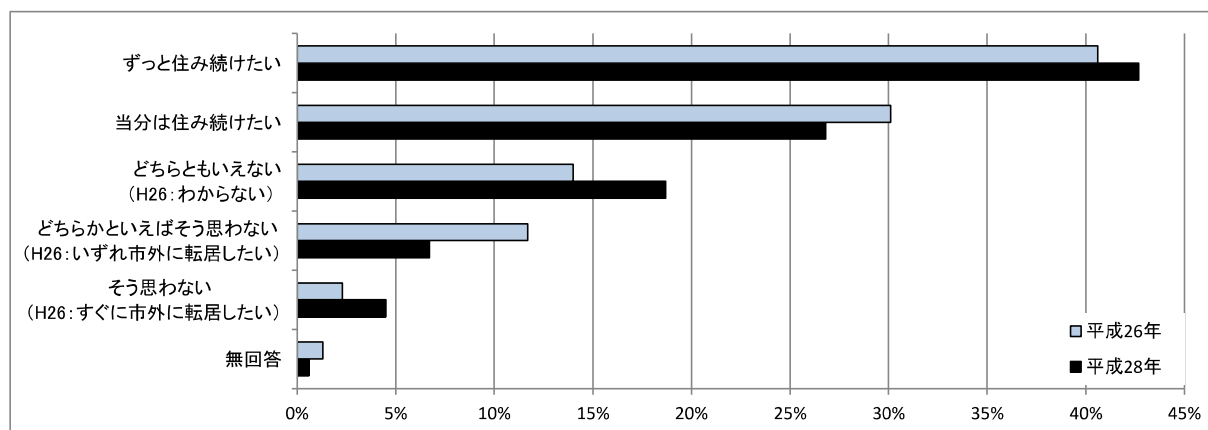
また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は17.2%と、平成26年度調査より4.0ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

2

今後も南丹市に住み続けたいですか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ずっと住み続けたい	381	40.6	342	42.7
当分は住み続けたい	283	30.1	215	26.8
どちらともいえない(平成26年:わからない)	131	14.0	149	18.7
どちらかといえばそう思わない(平成26年:いずれ市外に転居したい)	110	11.7	54	6.7
そう思わない(平成26:すぐに市外に転居したい)	22	2.3	36	4.5
無回答	12	1.3	5	0.6
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の約7割が南丹市に「住み続けたい」と回答

「ずっと住み続けたい」が42.7%と最も多く、「当分は住み続けたい」が26.8%と、市民の約7割が南丹市に「住み続けたい」と回答されています。

また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は11.2%と、平成26年度調査より2.8ポイント減少しています。

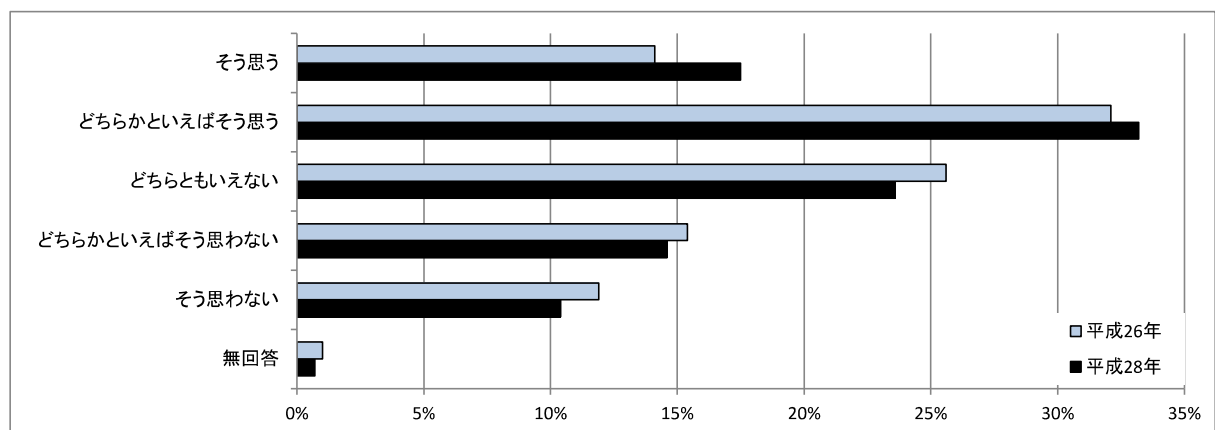
なお、「どちらともいえない」と回答された方が18.7%と、平成26年度調査より4ポイント増加しています。

II アンケート調査結果

3

南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	132	14.1	140	17.5
どちらかといえばそう思う	301	32.1	266	33.2
どちらともいえない	240	25.6	189	23.6
どちらかといえばそう思わない	145	15.4	117	14.6
そう思わない	112	11.9	83	10.4
無回答	9	1.0	6	0.7
合計	939	100.0	801	100.0



地域によって医療体制への意識に大きな差が生じている

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方が 50.7%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方が 25.0%となっています。

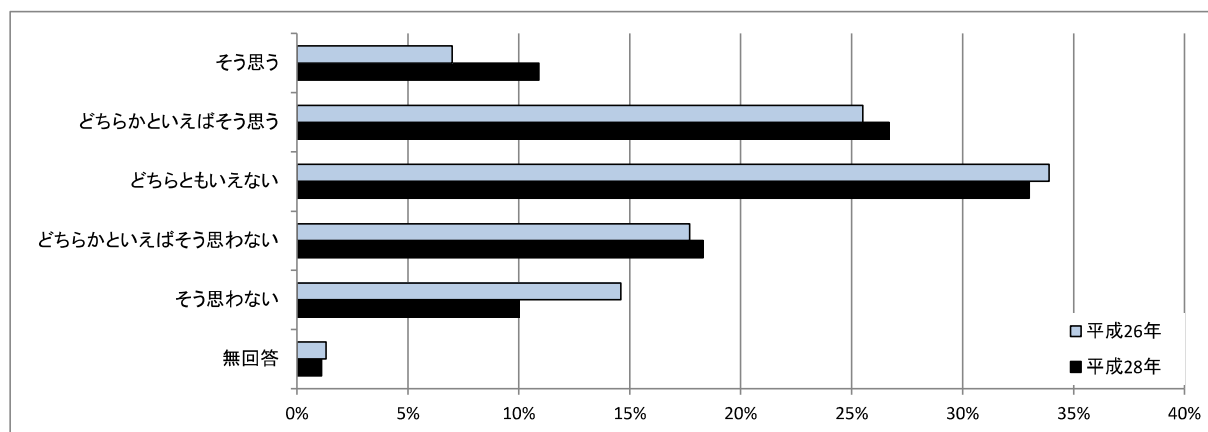
地域別に見ると、園部地域、八木地域、日吉地域では「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方がそれぞれ半数以上である一方、美山地域では「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方が半数近くとなっています。

II アンケート調査結果

4

南丹市は高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	66	7.0	87	10.9
どちらかといえばそう思う	240	25.5	214	26.7
どちらともいえない	318	33.9	264	33.0
どちらかといえばそう思わない	166	17.7	147	18.3
そう思わない	137	14.6	80	10.0
無回答	12	1.3	9	1.1
合計	939	100.0	801	100.0



「高齢者にとって暮らしにくいまち」だと感じている地域がある

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方が 37.6%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方が 28.3%となっています。

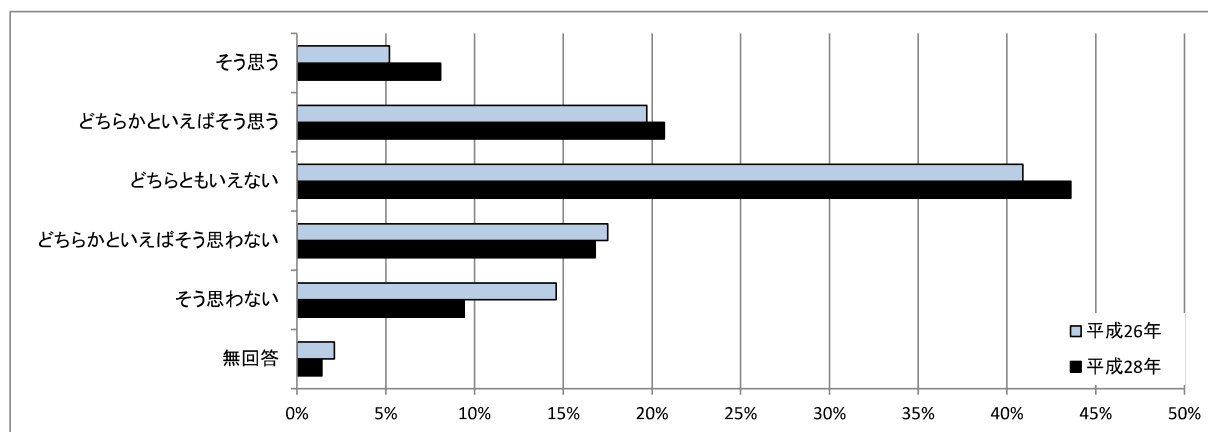
地域別に見ると、八木地域、美山地域では「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方がそれぞれ3割以上となっています。

II アンケート調査結果

5

南丹市は障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われ
ますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	49	5.2	65	8.1
どちらかといえばそう思う	185	19.7	166	20.7
どちらともいえない	384	40.9	349	43.6
どちらかといえばそう思わない	164	17.5	135	16.8
そう思わない	137	14.6	75	9.4
無回答	20	2.1	11	1.4
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の4人に1人が「障がい者にとって、安心して暮らせない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方が28.8%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方が26.2%となっています。

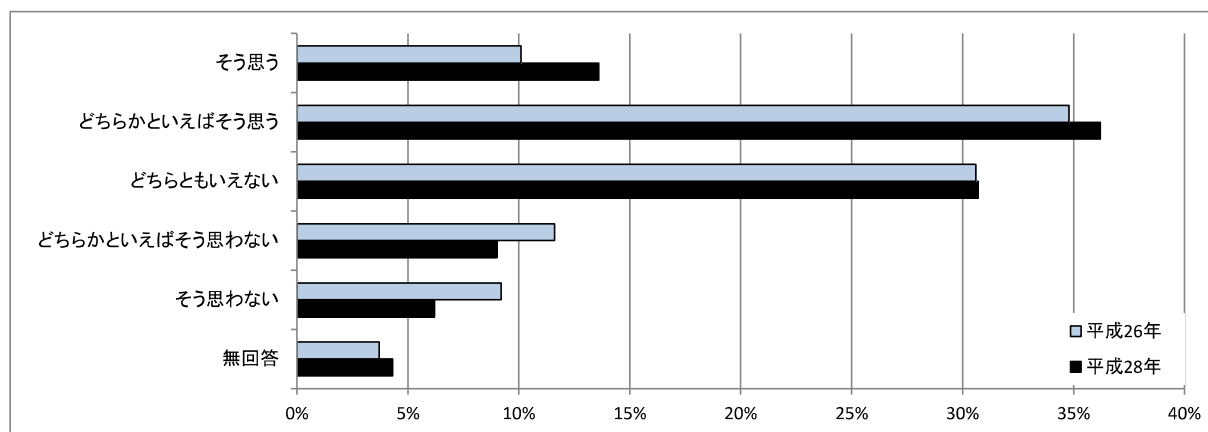
一方、「どちらともいえない」と回答された方が43.6%と最も多く、どの年代・地域でもその割合は高くなっています。

II アンケート調査結果

6

南丹市は安心して子育てのできるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	95	10.1	109	13.6
どちらかといえばそう思う	327	34.8	290	36.2
どちらともいえない	287	30.6	246	30.7
どちらかといえばそう思わない	109	11.6	72	9.0
そう思わない	86	9.2	50	6.2
無回答	35	3.7	34	4.3
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数近くが「安心して子育てができるまち」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は 49.8%と、平成 26 年度調査より 4.9 ポイント増加しています。

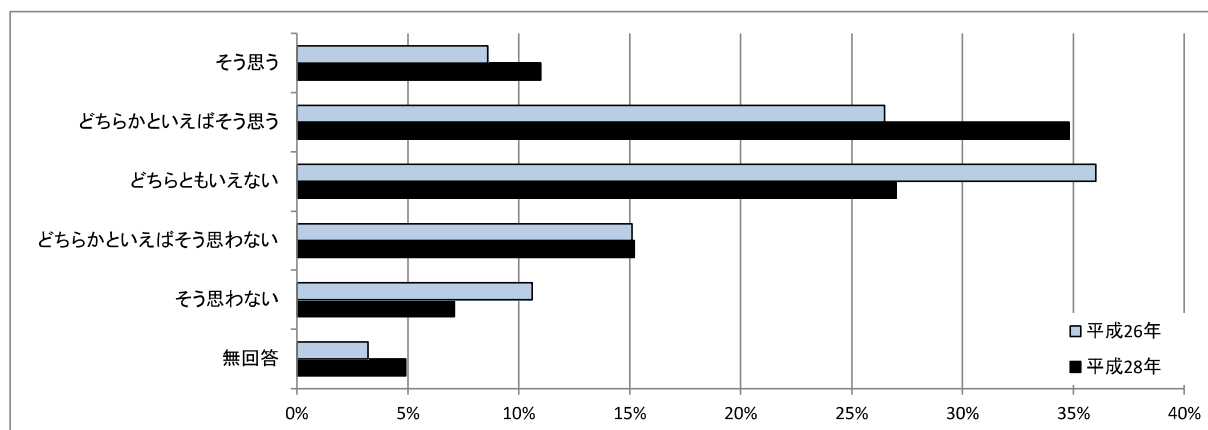
一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は 15.2%と、平成 26 年度調査より 5.6 ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

7

南丹市子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	81	8.6	88	11.0
どちらかといえばそう思う	249	26.5	279	34.8
どちらともいえない	338	36.0	216	27.0
どちらかといえばそう思わない	142	15.1	122	15.2
そう思わない	99	10.6	57	7.1
無回答	30	3.2	39	4.9
合計	939	100.0	801	100.0



教育環境の捉え方は地域によって異なる

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は45.8%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は22.3%となっています。

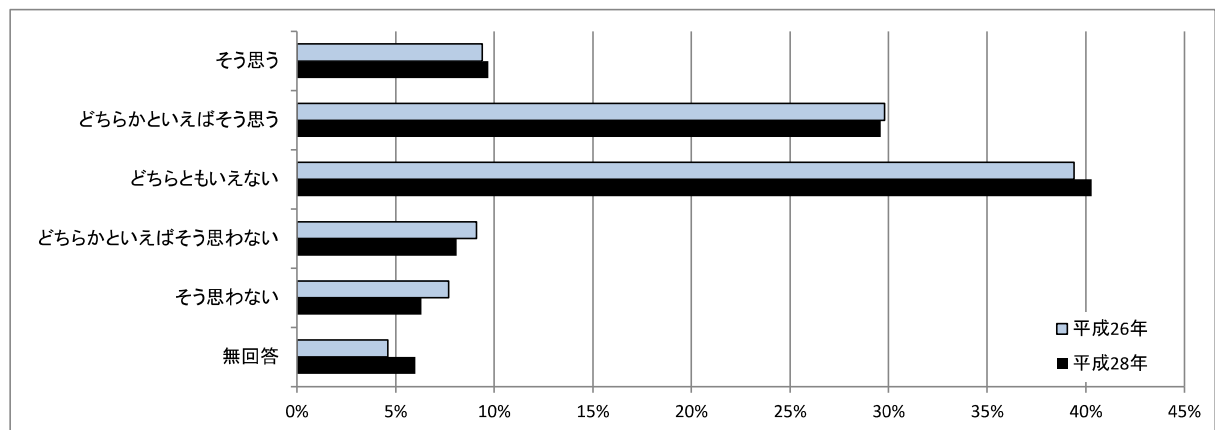
地域別に見ると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は、園部地域で 52.0%、八木地域で 41.1%、日吉地域で 47.3%、美山地域で 39.0%となっています。一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は、園部地域で 18.3%、八木地域で 24.3%、日吉地域で 18.2%、美山地域で 31.2%となっています。

II アンケート調査結果

8

南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われますか

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	88	9.4	78	9.7
どちらかといえばそう思う	280	29.8	237	29.6
どちらともいえない	370	39.4	323	40.3
どちらかといえばそう思わない	86	9.1	65	8.1
そう思わない	72	7.7	50	6.3
無回答	43	4.6	48	6.0
合計	939	100.0	801	100.0



南丹市は「乳幼児への保育・教育が充実している」？

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は 39.3%、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は 14.4%となっています。

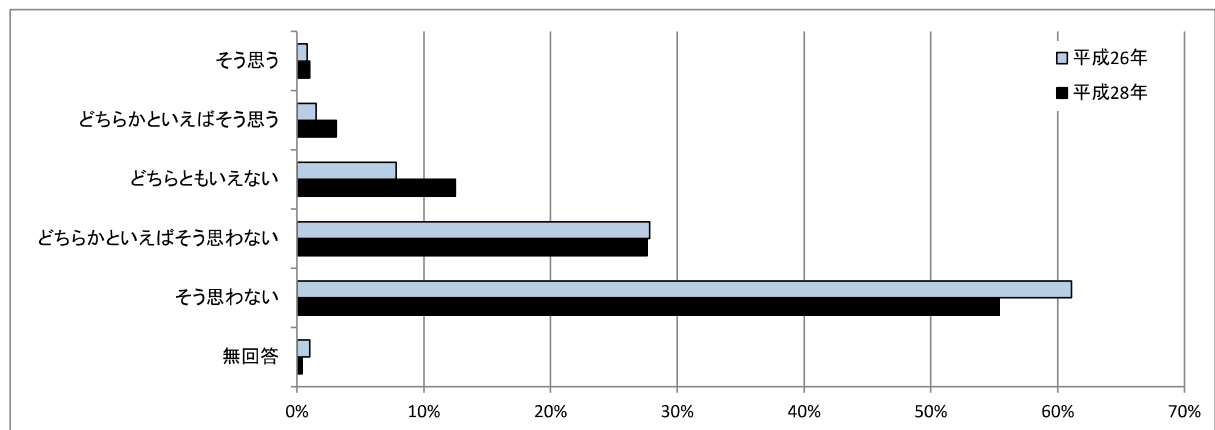
しかし、「どちらともいえない」と回答された方は40.3%と最も多く、どの年代でもその割合は高くなっており、南丹市は乳幼児への保育・教育が充実しているとは言い切れない状況にあります。

II アンケート調査結果

9

南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	8	0.8	8	1.0
どちらかといえばそう思う	14	1.5	25	3.1
どちらともいえない	73	7.8	100	12.5
どちらかといえばそう思わない	261	27.8	221	27.6
そう思わない	574	61.1	444	55.4
無回答	9	1.0	3	0.4
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の8割以上が「商店街（商業）はにぎわっていない」と回答

「そう思わない」が55.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」が27.6%となっており、市民の8割以上が南丹市の商店街（商業）はにぎわっていないと回答されています。

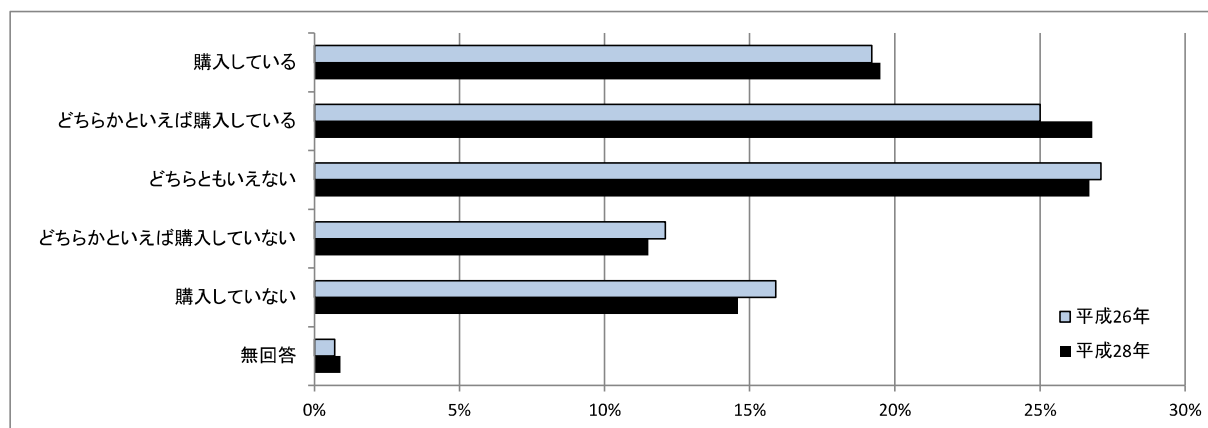
また、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方はわずか4.1%と、南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると思う市民は依然として少ない状況にあります。

II アンケート調査結果

10

南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
購入している	180	19.2	156	19.5
どちらかといえば購入している	235	25.0	215	26.8
どちらともいえない	254	27.1	214	26.7
どちらかといえば購入していない	114	12.1	92	11.5
購入していない	149	15.9	117	14.6
無回答	7	0.7	7	0.9
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の4割以上が地元産品を意識して購入

「購入している」または「どちらかといえば購入している」と回答された方は46.3%と、平成26年度調査よりも2.1ポイント増加しています。

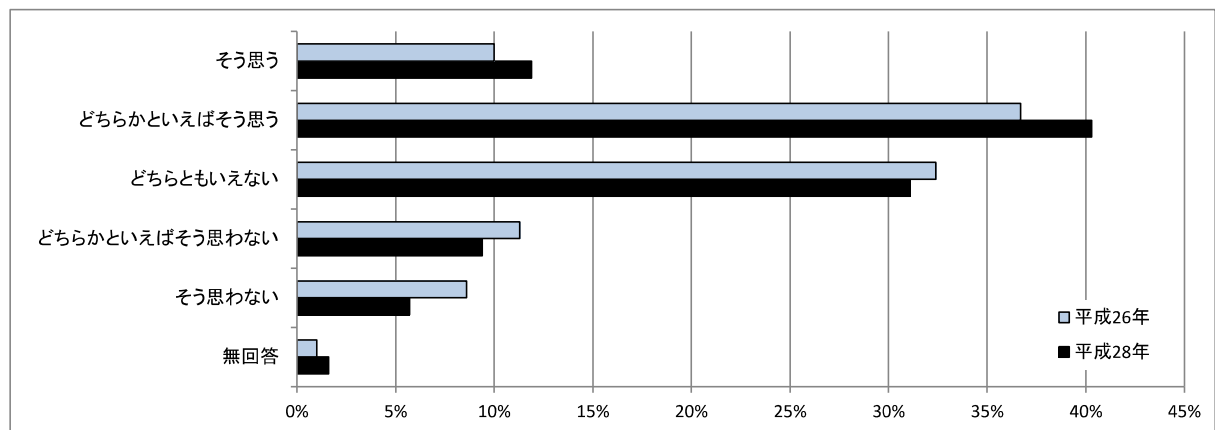
また、「購入していない」または「どちらかといえば購入していない」と回答された方は26.1%と、平成26年度調査よりも1.9ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

11

南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	94	10.0	95	11.9
どちらかといえばそう思う	345	36.7	323	40.3
どちらともいえない	304	32.4	249	31.1
どちらかといえばそう思わない	106	11.3	75	9.4
そう思わない	81	8.6	46	5.7
無回答	9	1.0	13	1.6
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数以上が「自然環境は守られている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は52.2%と、平成26年度調査よりも5.5ポイント増加しています。

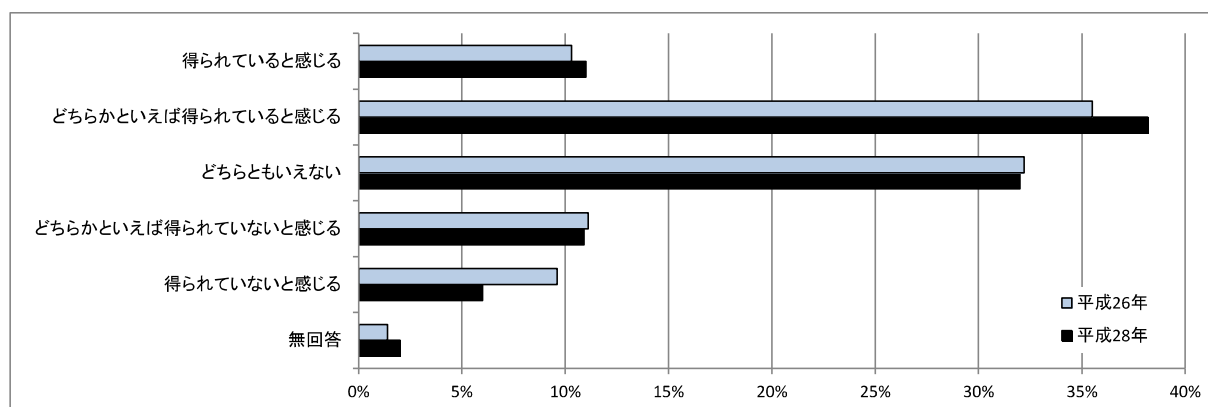
また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は15.1%と、平成26年度調査よりも4.8ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

12

南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政についての情報が的確に得られていると感じられますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
得られていると感じる	97	10.3	88	11.0
どちらかといえば得られていると感じる	333	35.5	306	38.2
どちらともいえない	302	32.2	256	32.0
どちらかといえば得られていないと感じる	104	11.1	87	10.9
得られていないと感じる	90	9.6	48	6.0
無回答	13	1.4	16	2.0
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数近くが「市の情報が得られている」と回答

「得られていると感じる」または「どちらかといえば得られていると感じる」と回答された方は49.2%と、平成26年度調査より3.4ポイント増加しています。

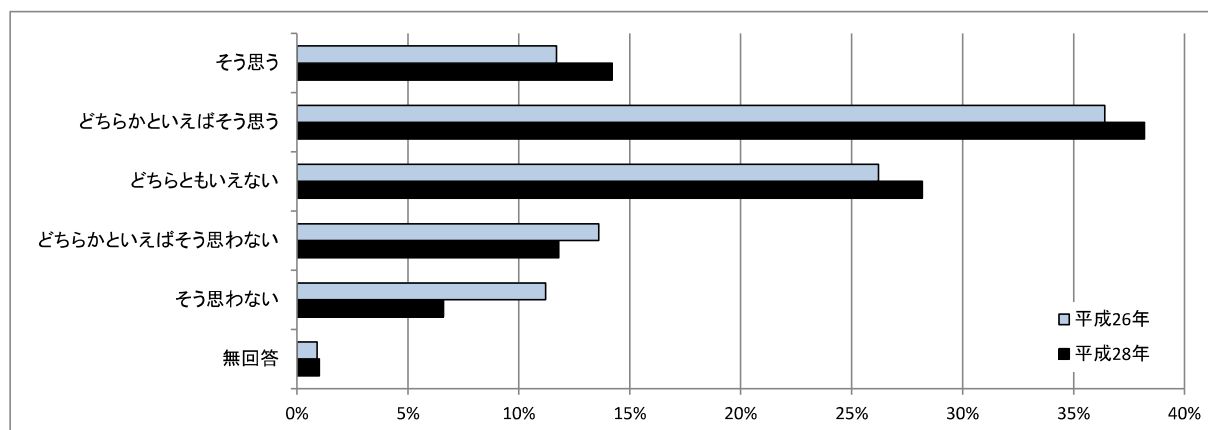
また、「得られていないと感じる」または「どちらかといえば得られていないと感じる」と回答された方は16.9%と、平成26年度調査より3.8ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

13

災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	110	11.7	114	14.2
どちらかといえばそう思う	342	36.4	306	38.2
どちらともいえない	246	26.2	226	28.2
どちらかといえばそう思わない	128	13.6	94	11.8
そう思わない	105	11.2	53	6.6
無回答	8	0.9	8	1.0
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数以上が「災害情報の発信体制は整っている」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は52.4%と、平成26年度調査より4.3ポイント増加しています。

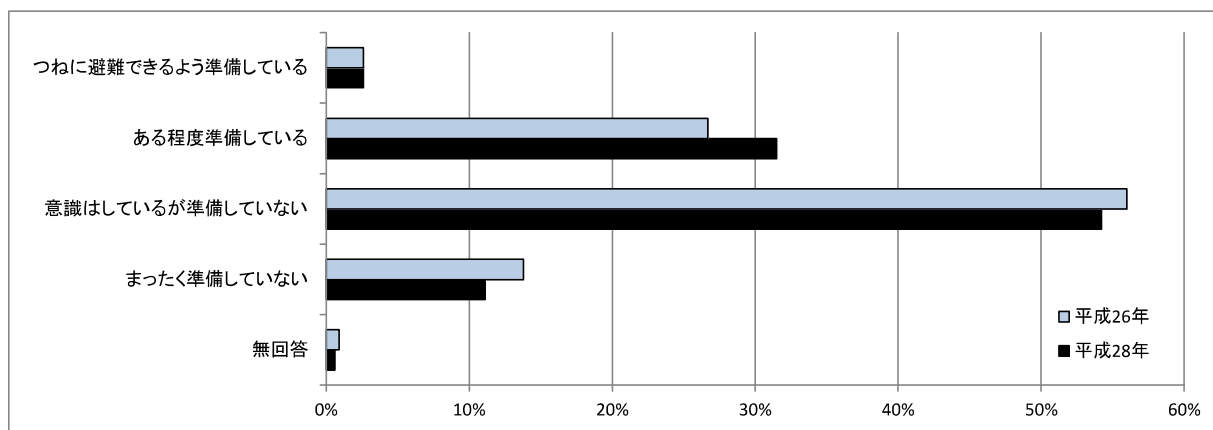
また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は18.4%と、平成26年度調査より6.4ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

14

台風や地震などの災害に備えて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
つねに避難できるよう準備している	24	2.6	21	2.6
ある程度準備している	251	26.7	252	31.5
意識はしているが準備していない	526	56.0	434	54.2
まったく準備していない	130	13.8	89	11.1
無回答	8	0.9	5	0.6
合計	939	100.0	801	100.0



市民の6割以上が「避難の準備をしていない」と回答

「つねに避難できるよう準備している」または「ある程度準備している」と回答された方は34.1%と、平成26年度調査より4.8ポイント増加しています。

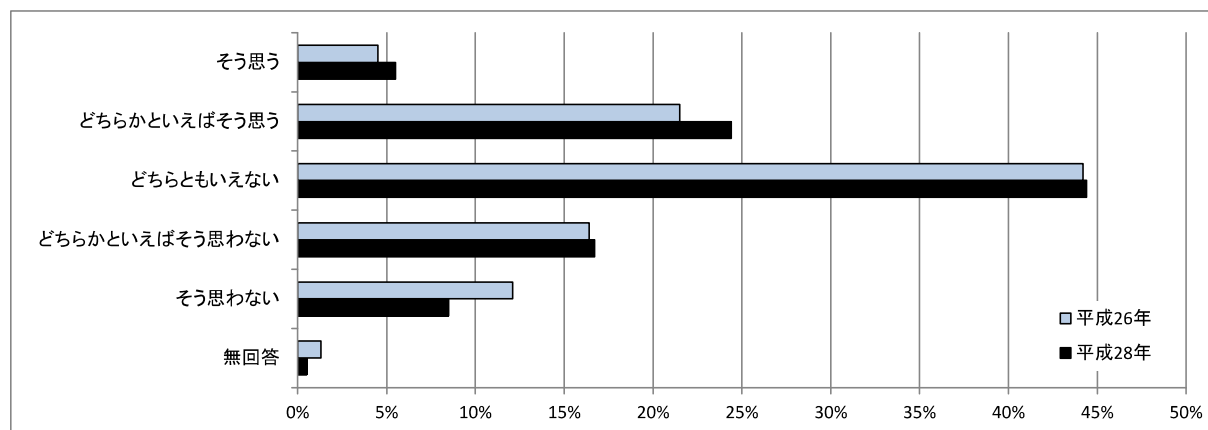
しかし、「意識はしているが準備はしていない」と回答された方は54.2%と最も多く、「まったく準備していない」と回答された方は11.1%と、依然として市民の6割以上が避難の準備をしていないと回答しており、引き続き避難準備を促す啓発などを行う必要があります。

II アンケート調査結果

15

南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思いますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	42	4.5	44	5.5
どちらかといえばそう思う	202	21.5	195	24.4
どちらともいえない	415	44.2	356	44.4
どちらかといえばそう思わない	154	16.4	134	16.7
そう思わない	114	12.1	68	8.5
無回答	12	1.3	4	0.5
合計	939	100.0	801	100.0



南丹市は「防災の面で、安心して暮らせるまち」？

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は29.9%と、平成26年度調査より3.9ポイント増加しています。

また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は25.2%と、平成26年度調査より3.3ポイント減少しています。

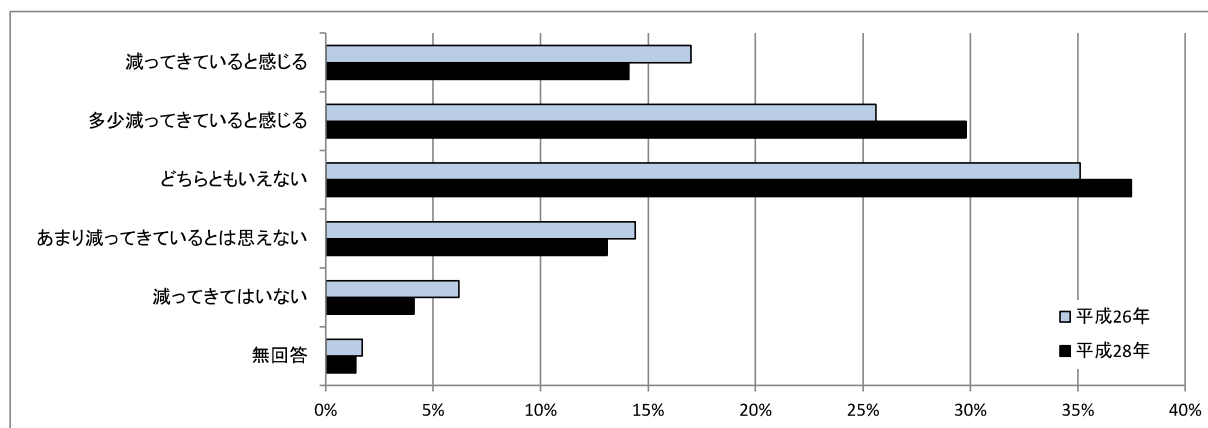
しかし、「どちらともいえない」は44.4%と最も多く、南丹市は防災の面で、安心して暮らせるまちであるとは言い切れない状況にあると考えられます。

II アンケート調査結果

16

まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じられますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
減ってきていると感じる	160	17.0	113	14.1
多少減ってきていると感じる	240	25.6	239	29.8
どちらともいえない	330	35.1	300	37.5
あまり減ってきているとは思えない	135	14.4	105	13.1
減ってきてはいない	58	6.2	33	4.1
無回答	16	1.7	11	1.4
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の4割以上が差別は「減ってきていると感じる」と回答

「減ってきていると感じる」または「多少減ってきていると感じる」と回答された方は43.9%と、平成26年度調査より1.3ポイント増加しています。

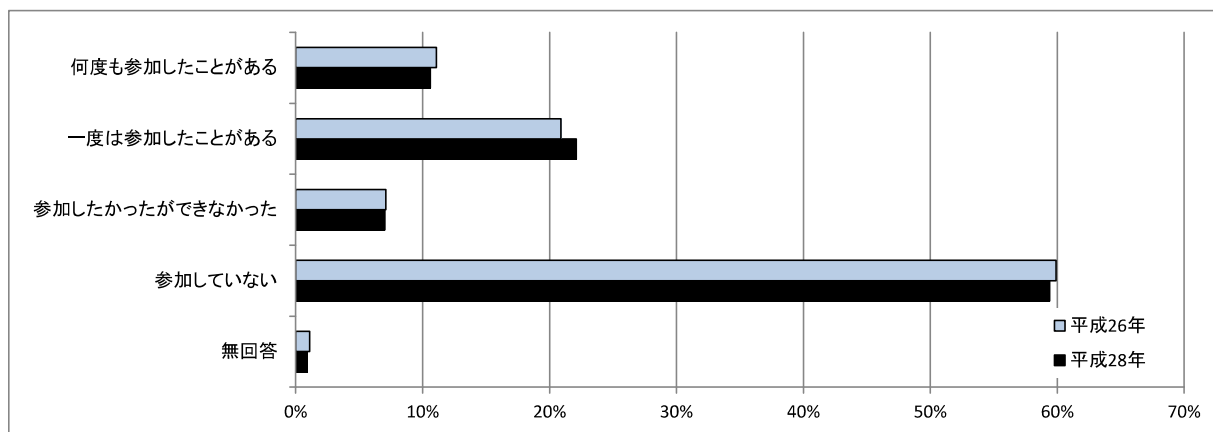
また、「減ってきてはいない」または「あまり減ってきているとは思えない」と回答された方は17.2%と、平成26年度調査より3.4ポイント減少しています。

II アンケート調査結果

17

過去1年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
何度も参加したことがある	104	11.1	85	10.6
一度は参加したことがある	196	20.9	177	22.1
参加したかったができなかった	67	7.1	56	7.0
参加していない	562	59.9	476	59.4
無回答	10	1.1	7	0.9
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の3人に2人が人権問題の勉強会等に参加していない

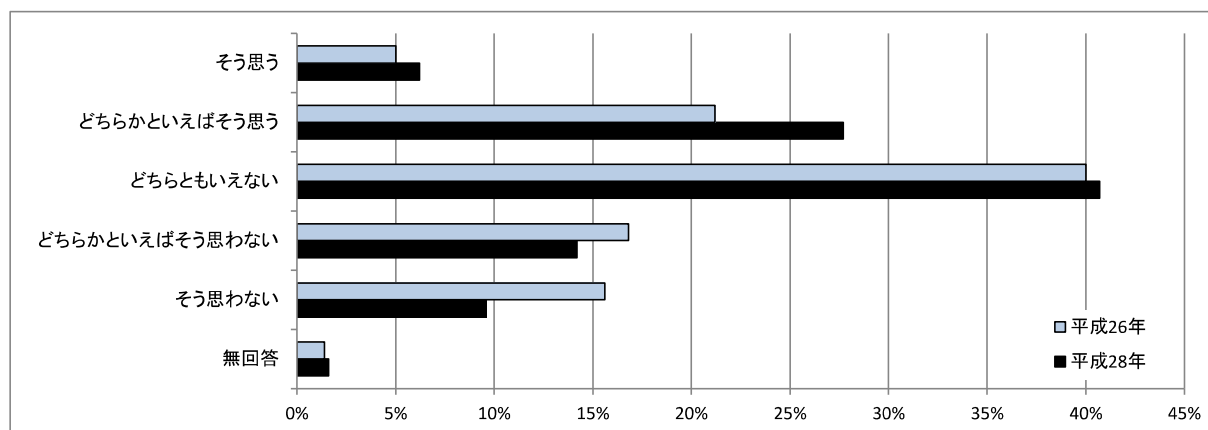
「何度も参加した」または「一度は参加した」と回答された方は32.7%となっています。一方、「参加していない」と回答された方は59.4%と最も多く、「参加したかったができなかった」と回答された方は7.0%と、依然として市民の3人に2人が人権問題の勉強会等に参加していないと回答しており、勉強会等の参加を促す広報啓発が求められます。

II アンケート調査結果

18

南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	47	5.0	49	6.2
どちらかといえばそう思う	199	21.2	222	27.7
どちらともいえない	376	40.0	326	40.7
どちらかといえばそう思わない	158	16.8	114	14.2
そう思わない	146	15.6	77	9.6
無回答	13	1.4	13	1.6
合計	939	100.0	801	100.0



3人に1人が「南丹市は協働してまちづくりに取り組んでいない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は33.9%と、平成26年度調査より7.7ポイント増加しています。

また、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は23.8%と、平成26年度調査より8.6ポイント減少しています。

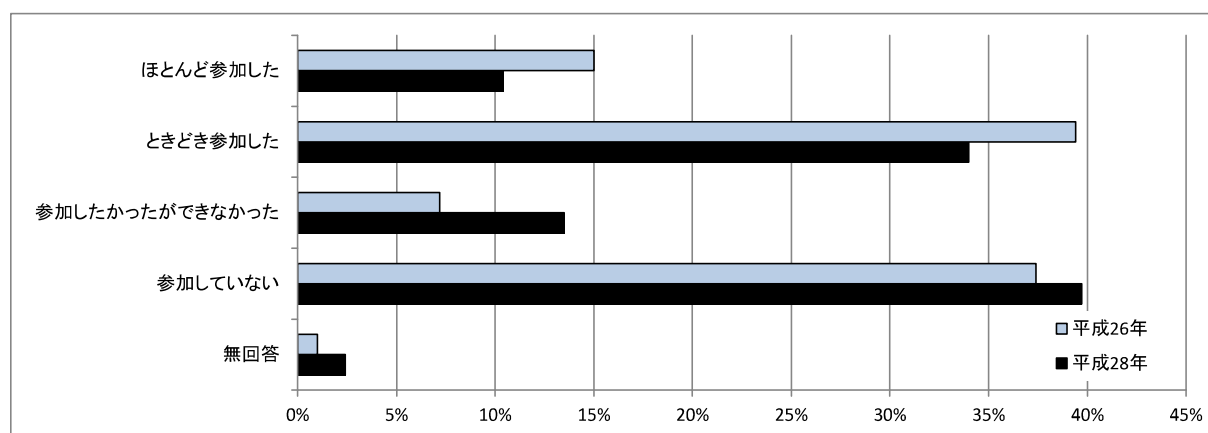
しかし、「どちらともいえない」と回答された方は40.7%と最も多く、市民の約4割が回答を保留しており、依然として南丹市は住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいるとは言い切れない状況にあります。

II アンケート調査結果

19-1

過去1年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
ほとんど参加した	141	15.0	83	10.4
ときどき参加した	370	39.4	272	34.0
参加したかったができなかった	68	7.2	109	13.5
参加していない	351	37.4	318	39.7
無回答	9	1.0	19	2.4
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の4割以上が地域活動に参加

「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答された方は44.4%と、平成26年度調査より10ポイント減少しています。

一方、「参加していない」は39.7%と最も多く、依然として市民の約4割が地域活動に参加していないと回答されています。

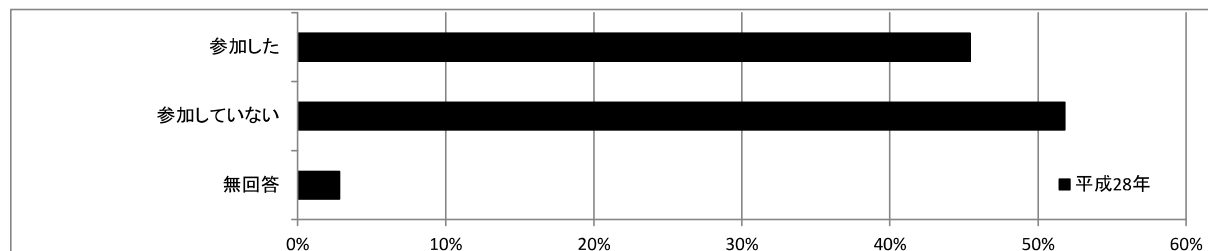
年代別に見ると、「ほとんど参加した」または「ときどき参加した」と回答された方は、50歳代で50.0%、60歳代で55.8%と他の年代と比べて多くなっています。

II アンケート調査結果

19-2 活動される際に、NPOやボランティア団体、地域団体に参加されましたか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	-		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
参加した			161	45.4
参加していない			184	51.8
無回答			10	2.8
合計	0	0.0	355	100.0



地域活動された市民の4割以上が地域団体に参加

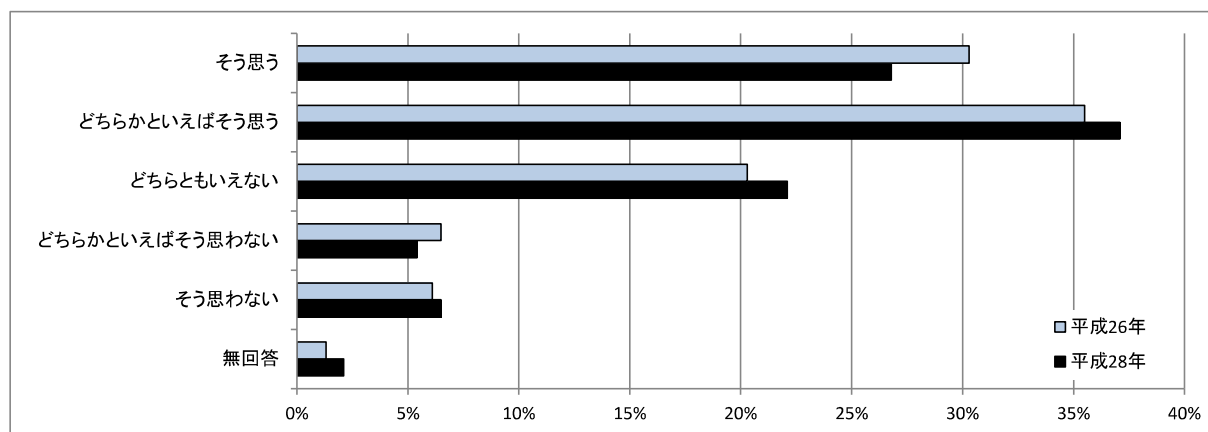
「参加した」と回答された方は45.4%、「参加していない」が51.8%となっています。年代別に見ると、40歳代と60歳代、70歳代以上では「参加した」が多くなっています。地域別に見ると、美山地域では「参加した」が多くなっています。

II アンケート調査結果

20

地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	285	30.3	215	26.8
どちらかといえばそう思う	333	35.5	297	37.1
どちらともいえない	191	20.3	177	22.1
どちらかといえばそう思わない	61	6.5	43	5.4
そう思わない	57	6.1	52	6.5
無回答	12	1.3	17	2.1
合計	939	100.0	801	100.0



市民の3人に2人が伝統や文化を引き継ぐ気持ちを持っている

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は63.9%と、平成26年度調査より1.9ポイント減少していますが、市民の3人に2人は伝統や文化を自分たちで引き継いでいかなければならないと回答されています。

一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は11.9%と、平成26年度調査と同様の結果となっています。

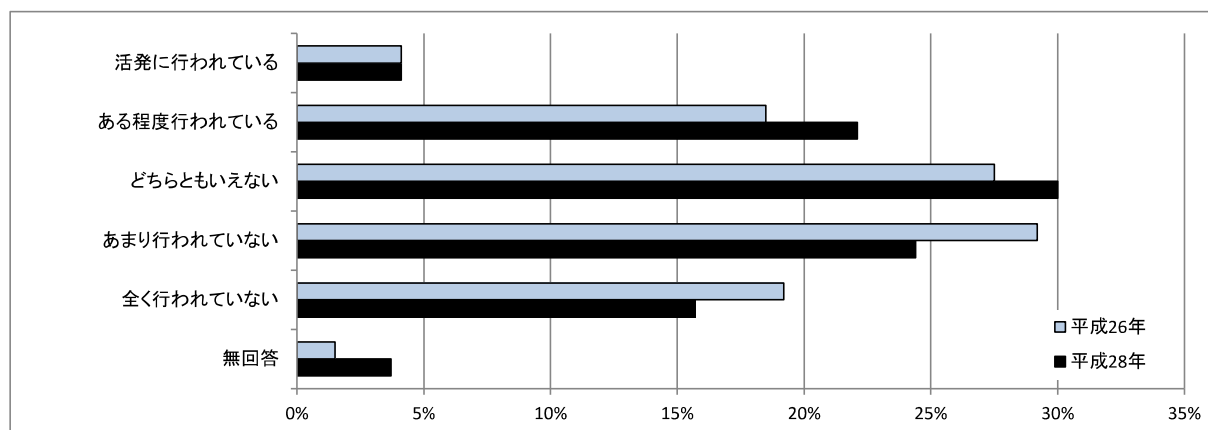
地域別に見ると、「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は、美山地域では74.5%、園部地域では63.0%、八木地域では62.7%、日吉地域では59.4%となっています。

II アンケート調査結果

21

ご自分の住んでいる地域において、さまざまな分野における、大学などとの交流・連携が活発に行われていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
活発に行われている	39	4.1	33	4.1
ある程度行われている	174	18.5	177	22.1
どちらともいえない	258	27.5	240	30.0
あまり行われていない	274	29.2	195	24.4
全く行われていない	180	19.2	126	15.7
無回答	14	1.5	30	3.7
合計	939	100.0	801	100.0



市民の約4割が「大学などとの交流・連携が行われていない」と回答

「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方は26.2%と、平成26年度調査より3.6ポイント増加しています。

地域別に見ると、「活発に行われている」または「ある程度行われている」と回答された方は、美山地域では57.4%と最も多く、次いで日吉地域では26.6%、園部地域では21.8%、八木地域では8.1%となっています。

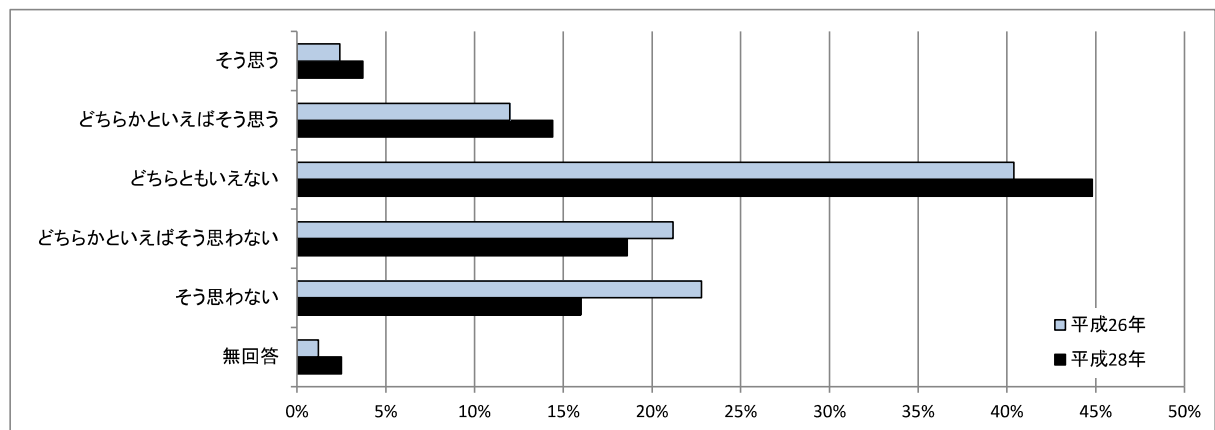
しかし、「全く行われていない」または「あまり行われていない」と回答された方は40.1%と、平成26年度調査より8.3ポイント減少しているものの、依然として市民の約4割が大学などとの交流・連携が行われていないと感じていると回答されています。

II アンケート調査結果

22

市民の税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思われますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
そう思う	23	2.4	30	3.7
どちらかといえばそう思う	113	12.0	115	14.4
どちらともいえない	379	40.4	359	44.8
どちらかといえばそう思わない	199	21.2	149	18.6
そう思わない	214	22.8	128	16.0
無回答	11	1.2	20	2.5
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の3人に1人が「税金が効果的に活用されていない」と回答

「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と回答された方は18.1%と、平成26年度調査より3.7ポイント増加しています。

一方、「そう思わない」または「どちらかといえばそう思わない」と回答された方は34.6%と、平成26年度調査より9.4ポイント減少しています。

しかし、「どちらともいえない」は44.8%と最も多く、市民の4割以上が回答を保留しています。

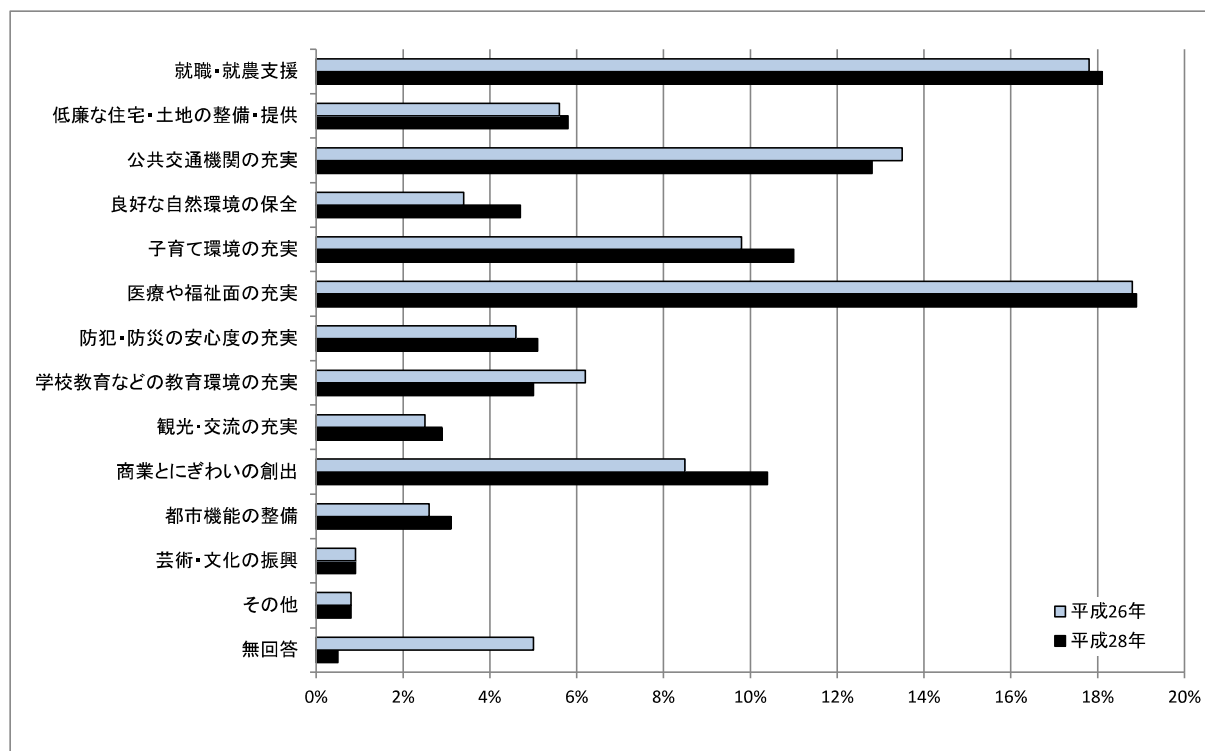
II アンケート調査結果

23

南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか 《3つ選択》

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
就職・就農支援	502	17.8	409	18.1
低廉な住宅・土地の整備・提供	158	5.6	132	5.8
公共交通機関の充実	379	13.5	291	12.8
良好な自然環境の保全	97	3.4	106	4.7
子育て環境の充実	275	9.8	249	11.0
医療や福祉面の充実	530	18.8	428	18.9
防犯・防災の安心度の充実	129	4.6	115	5.1
学校教育などの教育環境の充実	176	6.2	114	5.0
観光・交流の充実	71	2.5	65	2.9
商業とにぎわいの創出	238	8.5	236	10.4
都市機能の整備	73	2.6	70	3.1
芸術・文化の振興	25	0.9	20	0.9
その他	22	0.8	19	0.8
無回答	142	5.0	11	0.5
合計	2,817	100.0	2,265	100.0

II アンケート調査結果



南丹市への定住を促進するために力を入れるべきこと

「医療や福祉面の充実」が18.9%と最も多く、次いで「就職・就農支援」が18.1%、「公共交通機関の充実」が12.8%と、平成26年度調査と同様の結果となっています。

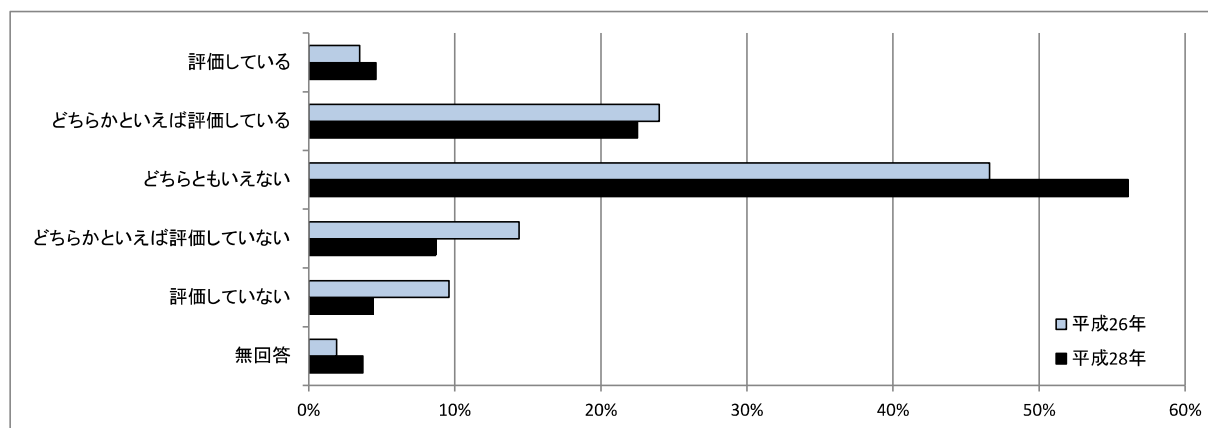
年代別に見ると、10歳代、40歳代、60歳代、70歳代以上では「医療や福祉面の充実」が最も多く、20歳代、30歳代、50歳代では「就職・就農支援」が最も多くなっています。

地域別に見ると、園部地域、八木地域では「医療や福祉面の充実」が最も多く、日吉地域、美山地域では「就職・就農支援」が最も多くなっています。

24-1

総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどう評価されますか。

選 択 肢	平成26年		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
評価している	33	3.5	37	4.6
どちらかといえば評価している	225	24.0	180	22.5
どちらともいえない	438	46.6	449	56.1
どちらかといえば評価していない	135	14.4	70	8.7
評価していない	90	9.6	35	4.4
無回答	18	1.9	30	3.7
合 計	939	100.0	801	100.0



市民の半数以上が市政運営は「どちらともいえない」と回答

「評価している」は4.6%、「どちらかといえば評価している」は22.5%と、市民の3割弱がサービスを評価していると回答されています。

また、「評価していない」または「どちらかといえば評価していない」と回答された方は13.1%と、平成26年度調査より10.9ポイント減少しています。

しかし、「どちらともいえない」は56.1%と最も多く、市民の半数以上が回答を保留しています。

24-2

南丹市が行っている市政運営を評価していない理由

問24で「4. どちらかといえば評価していない」または「5. 評価していない」と回答された方に、評価していない理由についてお伺いしました。主なご意見の内容は次のとおりです。

- 空き家が放置され、対策が進んでいない点
- 買い物に行けない高齢者などへの対策が進んでいない点
- 高齢化や鳥獣害被害への対策など、農業政策が十分でない点
- 道路整備などで旧4町の間に格差がある点
- J R八木駅の整備が進んでいない点
- バスなど、公共交通機関が十分でない点
- 歴史的建造物などを取り壊してしまった点
- 企業誘致など人が集まる政策が進んでいない点
- 教育環境や保育所の整備などが十分でない点
- スピードを出す車やトラックへの対策が進んでいない点
- 議会の傍聴席が少なく、傍聴を歓迎しないような雰囲気になっている点
- 園部川などの河川の氾濫への対策が進んでいない点

II アンケート調査結果

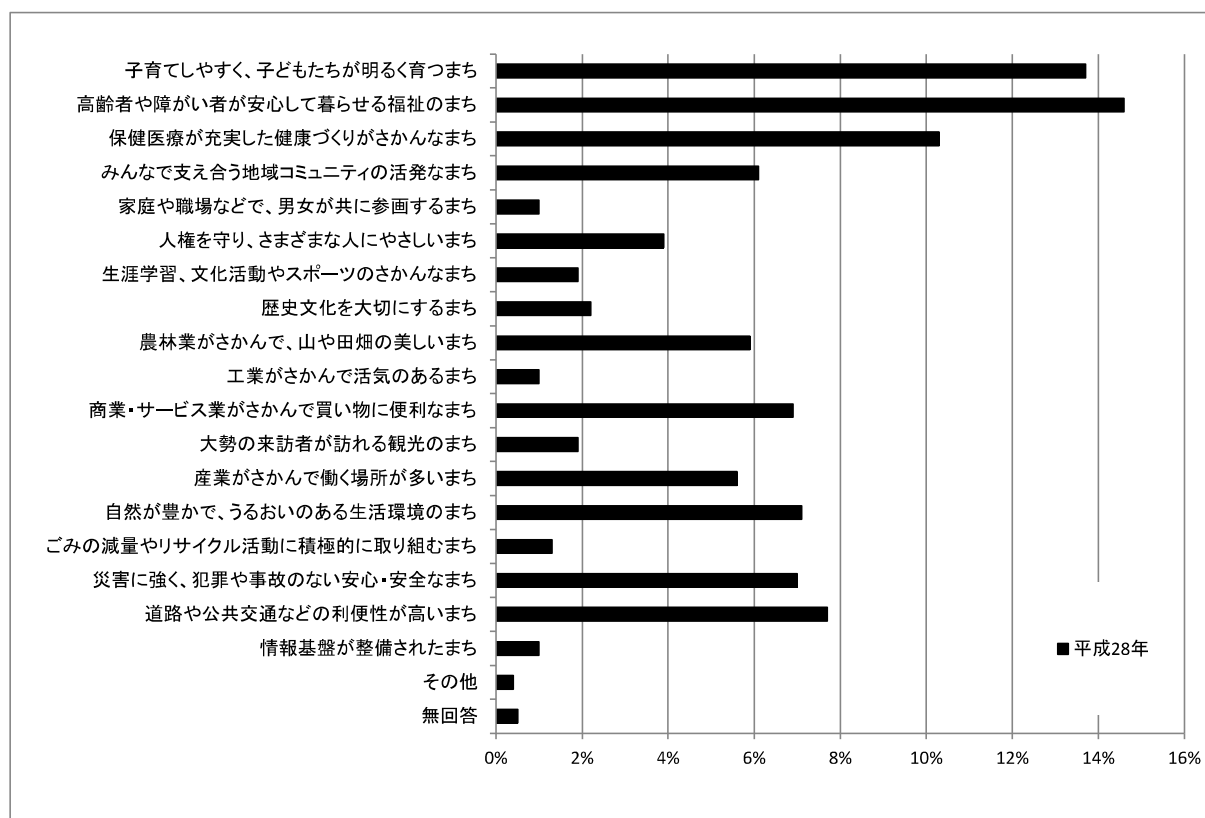
25

将来の南丹市をどのようなまちにしたいですか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	－		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまち			405	13.7
高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち			433	14.6
保健医療が充実した健康づくりがさかんなまち			306	10.3
みんなで支え合う地域コミュニティの活発なまち			182	6.1
家庭や職場などで、男女が共に参画するまち			29	1.0
人権を守り、さまざまな人にやさしいまち			115	3.9
生涯学習、文化活動やスポーツのさかんなまち			56	1.9
歴史文化を大切にするまち			65	2.2
農林業がさかんで、山や田畑の美しいまち			174	5.9
工業がさかんで活気のあるまち			29	1.0
商業・サービス業がさかんで買い物に便利なまち			206	6.9
大勢の来訪者が訪れる観光のまち			57	1.9
産業がさかんで働く場所が多いまち			165	5.6
自然が豊かで、うるおいのある生活環境のまち			212	7.1
ごみの減量やリサイクル活動に積極的に取り組むまち			38	1.3
災害に強く、犯罪や事故のない安心・安全なまち			208	7.0
道路や公共交通などの利便性が高いまち			230	7.7
情報基盤が整備されたまち			30	1.0
その他			11	0.4
無回答			15	0.5
合計	0	0.0	2,966	100.0

II アンケート調査結果



将来の南丹市をどのようなまちにしたいか

「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」が14.6%と最も多く、次いで「子育てしやすい、子どもたちが明るく育つまち」が13.7%、「保健医療が充実した健康づくりがさかんなまち」が10.3%となっています。

年代別に見ると、10歳代、20歳代、30歳代では「子育てしやすい、子どもたちが明るく育つまち」が最も多く、60歳代、70歳代では「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」が最も多くなっています。なお、40歳代と50歳代では両方ともに高くなっています。

地域別に見ると、園部地域、日吉地域、美山地域では「高齢者や障がい者が安心して暮らせる福祉のまち」が最も多く、八木地域では「子育てしやすい、子どもたちが明るく育つまち」が最も多くなっています。

II アンケート調査結果

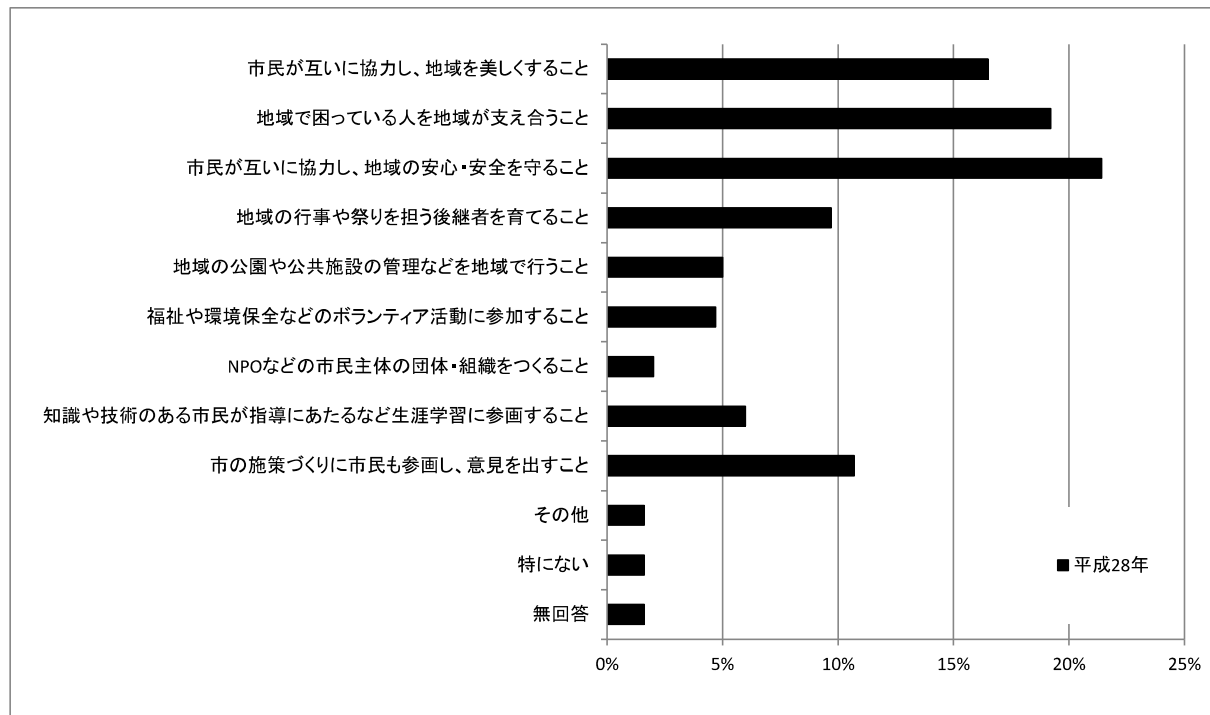
26

南丹市をもっと住みよいまちにするために、市民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	－		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
市民が互いに協力し、地域を美しくすること			330	16.5
地域で困っている人を地域が支え合うこと			383	19.2
市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること			428	21.4
地域の行事や祭りを担う後継者を育てること			194	9.7
地域の公園や公共施設の管理などを地域で行うこと			99	5.0
福祉や環境保全などのボランティア活動に参加すること			94	4.7
NPOなどの市民主体の団体・組織をつくること			39	2.0
知識や技術のある市民が指導にあたるなど生涯学習に参画すること			120	6.0
市の施策づくりに市民も参画し、意見を出すこと			214	10.7
その他			33	1.6
特にない			32	1.6
無回答			33	1.6
合 計	0	0.0	1,999	100.0

II アンケート調査結果



南丹市をもっと住みよいまちにするためにできること

「市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること」が最も多く21.4%、次いで「地域で困っている人を地域が支え合うこと」が19.2%、「市民が互いに協力し、地域を美しくすること」が16.5%となっています。

年代別に見ると、10歳代、30歳代、60歳代、70歳代以上では「市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること」が最も多くなっています。また、20歳代、40歳代、50歳代では「地域で困っている人を地域が支え合うこと」も他と比べて多くなっています。

地域別に見ると、園部地域、八木地域では「市民が互いに協力し、地域の安心・安全を守ること」が最も多く、日吉地域、美山地域では「地域で困っている人を地域が支え合うこと」が最も多くなっています。

II アンケート調査結果

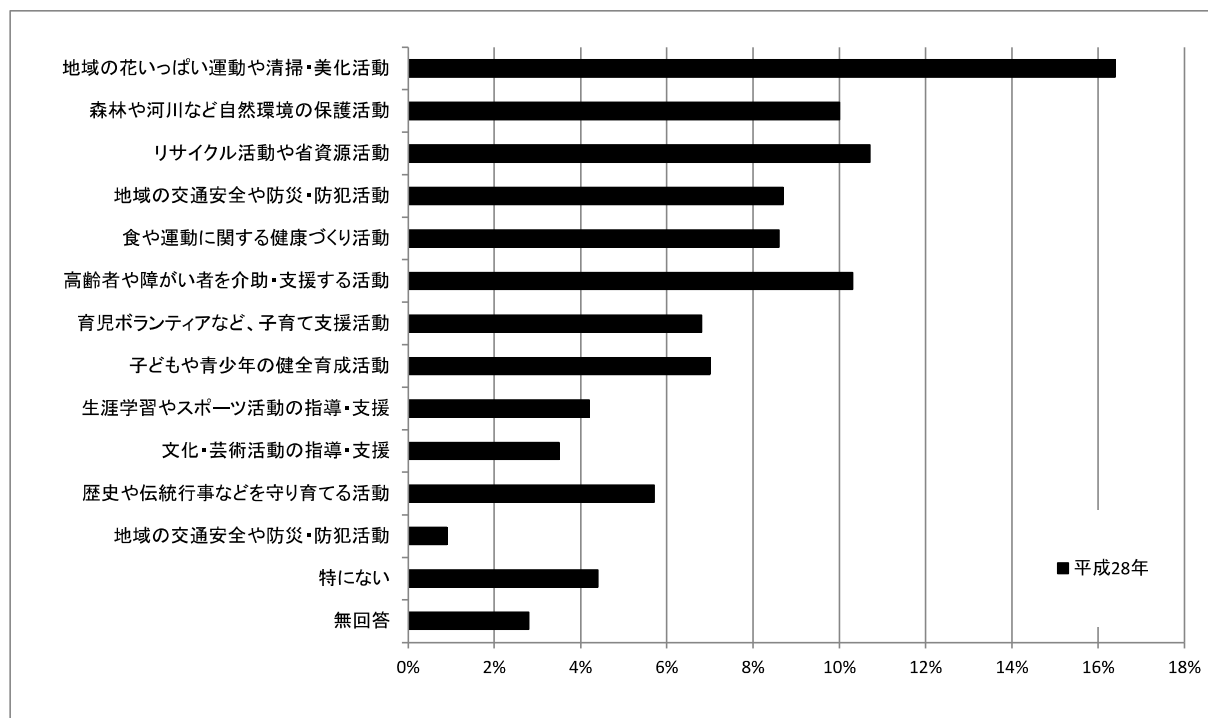
27

『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	－		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動			295	16.4
森林や河川など自然環境の保護活動			180	10.0
リサイクル活動や省資源活動			192	10.7
地域の交通安全や防災・防犯活動			156	8.7
食や運動に関する健康づくり活動			154	8.6
高齢者や障がい者を介助・支援する活動			186	10.3
育児ボランティアなど、子育て支援活動			123	6.8
子どもや青少年の健全育成活動			127	7.0
生涯学習やスポーツ活動の指導・支援			76	4.2
文化・芸術活動の指導・支援			63	3.5
歴史や伝統行事などを守り育てる活動			103	5.7
その他			17	0.9
特にない			79	4.4
無回答			51	2.8
合計	0	0.0	1,802	100.0

II アンケート調査結果



「地域のまちづくりに参加」してできること

「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が16.4%と最も多く、次いで「リサイクル活動や省資源活動」が10.7%、「高齢者や障がい者を介助・支援する活動」が10.3%となっています。

年代別に見ると、10歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳代以上では「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が最も多く、20歳代では「育児ボランティアなど、子育て支援活動」が最も多くなっています。

II アンケート調査結果

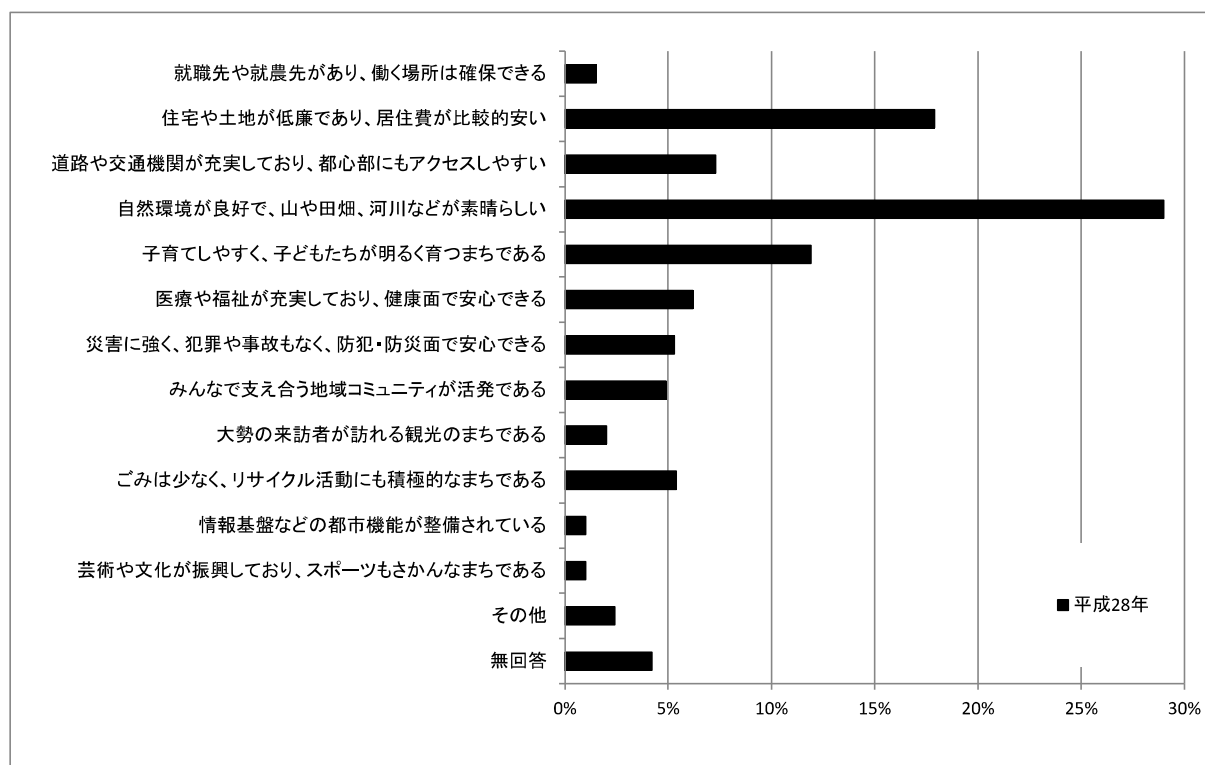
28

もし市外の人に、南丹市に定住することを勧めるとしたら、
南丹市にはどんな魅力があると紹介しますか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	－		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
就職先や就農先があり、働く場所は確保できる			25	1.5
住宅や土地が低廉であり、居住費が比較的安い			309	17.9
道路や交通機関が充実しており、都心部にもアクセスしやすい			125	7.3
自然環境が良好で、山や田畑、河川などが素晴らしい			499	29.0
子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちである			204	11.9
医療や福祉が充実しており、健康面で安心できる			107	6.2
災害に強く、犯罪や事故もなく、防犯・防災面で安心できる			91	5.3
みんなで支え合う地域コミュニティが活発である			85	4.9
大勢の来訪者が訪れる観光のまちである			35	2.0
ごみは少なく、リサイクル活動にも積極的なまちである			93	5.4
情報基盤などの都市機能が整備されている			17	1.0
芸術や文化が振興しており、スポーツもさかんなまちである			18	1.0
その他			41	2.4
無回答			73	4.2
合計	0	0.0	1,722	100.0

II アンケート調査結果



市外の人に定住を勧めるとしたら、どんな魅力を紹介するか

「自然環境が良好で、山や田畑、河川などが素晴らしい」が29.0%と最も多く、次いで「住宅や土地が低廉であり、居住費が比較的安い」が17.9%、「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちである」が11.9%となっています。

年代別・地域別に見ると、どの年代・地域でも「自然環境が良好で、山や田畑、河川などが素晴らしい」が最も多く、次いで「住宅や土地が低廉であり、居住費が比較的安い」、「子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちである」となっています。

II アンケート調査結果

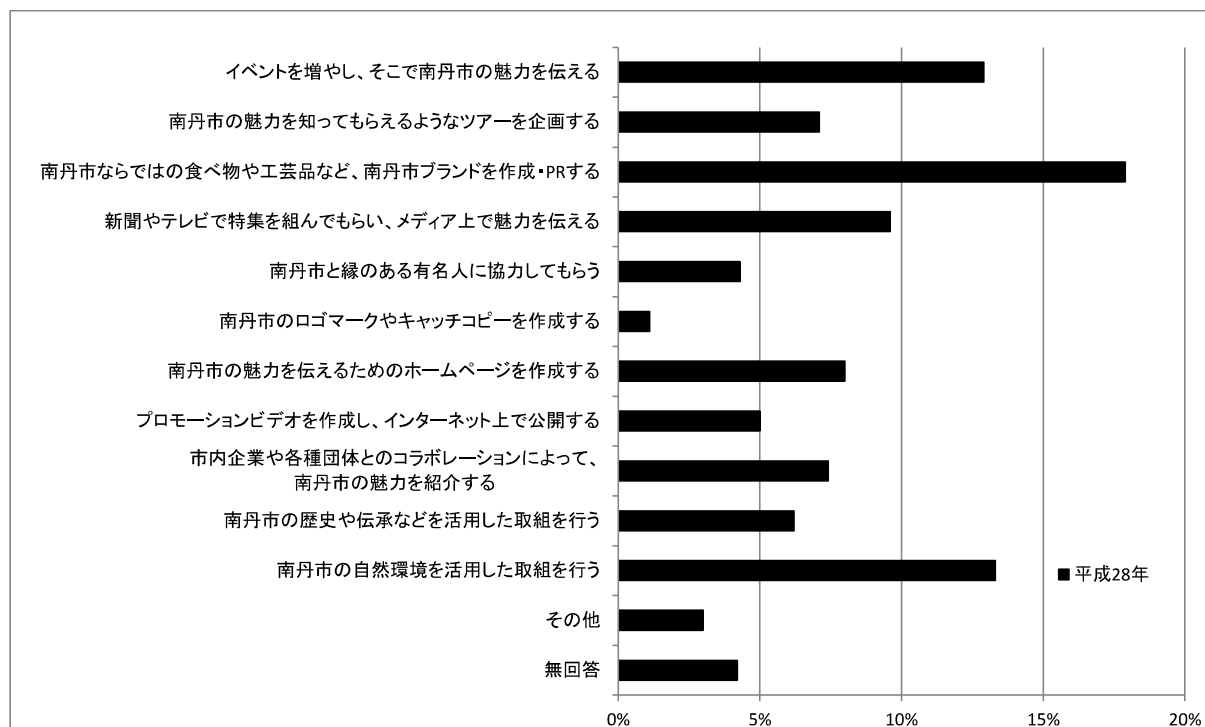
29-1

南丹市の魅力を市外の人に紹介するために、
具体的に何をすればよいと思いますか。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

選 択 肢	—		平成28年	
	回答数(人)	比率(%)	回答数(人)	比率(%)
イベントを増やし、そこで南丹市の魅力を伝える			242	12.9
南丹市の魅力を知ってもらえるようなツアーを企画する			133	7.1
南丹市ならではの食べ物や工芸品など、南丹市ブランドを作成・PRする			336	17.9
新聞やテレビで特集を組んでもらい、メディア上で魅力を伝える			180	9.6
南丹市と縁のある有名人に協力してもらう			80	4.3
南丹市のロゴマークやキャッチコピーを作成する			21	1.1
南丹市の魅力を伝えるためのホームページを作成する			150	8.0
プロモーションビデオを作成し、インターネット上で公開する			94	5.0
市内企業や各種団体とのコラボレーションによって、 南丹市の魅力を紹介する			139	7.4
南丹市の歴史や伝承などを活用した取組を行う			117	6.2
南丹市の自然環境を活用した取組を行う			249	13.3
その他			59	3.0
無回答			78	4.2
合計	0	0.0	1,878	100.0

II アンケート調査結果



南丹市の魅力を市外の人に紹介するために

「南丹市ならではの食べ物や工芸品など、南丹市ブランドを作成・PRする」が17.9%と最も多く、次いで「南丹市の自然環境を活用した取組を行う」が13.3%、「イベントを増やし、そこで南丹市の魅力を伝える」が12.9%となっています。

地域別に見ると、どの地域でも「南丹市ならではの食べ物や工芸品など、南丹市ブランドを作成・PRする」が最も多く、園部地域、八木地域、日吉地域では「イベントを増やし、そこで南丹市の魅力を伝える」、美山地域では「医療や福祉面の充実」が次いで高くなっています。

29-2

南丹市の魅力を市外の人に紹介するアイデア

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

南丹市の魅力を市外の人に紹介するアイデアについて、ご提案をお伺いしましたところ、154件のご提案をいただきました。主なご提案の内容は次のとおりです。

● PR全般に関するご提案	32件
● イベントに関するご提案	24件
● 施設整備に関するご提案	21件
● キャッチコピーに関するご提案	21件
● ツアーに関するご提案	18件
● メディア上での紹介に関するご提案	9件
● プロモーションビデオに関するご提案	7件
● その他	22件

30

あなたにとっての南丹市をひと言で自由に表現してください。 また、理由も教えてください。

※平成28年度調査より新たに追加された設問です。

南丹市をひと言で自由に表現していただくようお願いしたところ、367件のご提案をいただきました。主なご提案の内容は次のとおりです。

● 自然豊かなまち、緑で溢れているまち、空気がきれいなまちなどのご提案	79件
● 何もないまち、不便なまち、中途半端なまちなどのご提案	45件
● 田舎などのご提案	34件
● 住みよいまち、生活しやすいまちなどのご提案	25件
● 過疎化が進んでいるまち、衰退しているまちなどのご提案	24件
● 故郷、第二のふるさとなどのご提案	20件
● 静かなまち、のどかなまち、のんびりできるまちなどのご提案	19件
● 人が暖かいまち、やさしいまち、人と人との和があるまちなどのご提案	17件
● 発展途上のまち、可能性のあるまちなどのご提案	13件
● 安心安全のまち、犯罪のないまち、災害の少ないまちなどのご提案	7件
● 目立たないまち、中間地点・通過点のまちなどのご提案	7件
● 市政が不透明なまち、行政が何をしているか見えないまちなどのご提案	7件
● 京都市から近いまち、アクセスがよいまちなどのご提案	6件
● 地域格差のあるまち、旧4町ごとに大きく異なるまちなどのご提案	6件
● 子育てしやすいまち、子どもが伸び伸びと育つまちなどのご提案	5件
● 内向きなまち、コミュニケーションしづらいまちなどのご提案	4件
● その他	49件

3 1

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。

まちづくりに対して、ご提案やご意見をお聞きしましたところ、263件のご意見をいただきました。
主なご意見の内容は次のとおりです。

● 市街地整備、商店街の活性化に関するご提案、ご意見	3 2 件
● 地域間（旧町間）の格差是正に関するご提案、ご意見	2 8 件
● 政策の方向性に関するご提案、ご意見	2 7 件
● 地域公共交通の整備、駅舎改築に関するご提案、ご意見	2 5 件
● 地域内コミュニティに関するご提案、ご意見	2 2 件
● 定住促進、少子高齢化・過疎化対策に関するご提案、ご意見	1 7 件
● 広報、情報発信および広聴に関するご提案、ご意見	1 7 件
● 自然環境、美化に関するご提案、ご意見	1 3 件
● 道路整備に関するご提案、ご意見	1 3 件
● 健康・福祉・医療の充実に関するご提案、ご意見	1 2 件
● 地域内の安全・安心、防犯・防災対策に関するご提案、ご意見	1 1 件
● 職員の住民対応、体制、心構えに関するご提案、ご意見	7 件
● 農林業の振興に関するご提案、ご意見	5 件
● その他	3 4 件

— 平成28年度 —
まちづくりを積極的に進めるための
市 民 意 識 調 査

調 査 協 力 の お 願 い

平素は、南丹市のまちづくりにご理解とご協力をいただきありがとうございます。

現在、南丹市では、「南丹市総合振興計画後期基本計画（平成25年度～の後期5カ年）」に基づくまちづくりを積極的に進めているところです。

この度、南丹市のまちづくりを、より効果的に進めていくため、無作為で選ばせていただいた市民の皆さんに、まちづくりに対する実感や思い、お考えをお伺いいたしたくアンケートを郵送させていただきました。

アンケート結果は、個別に公表するものではなく、統計的に処理した上で今後の南丹市の発展のための参考資料として活用しますので、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いします。

平成28年10月

南丹市長 佐々木 稔納

- この調査にご記入いただいた内容は、統計的に処理を行い、調査の目的以外に使用することは一切ございません。
- 宛名のご本人が、ご自身の実感や思い、また考えに基づいて市民意識調査(アンケート)に、ご回答ください。ご本人の記入が難しい場合は、家族の方などがご本人の立場で、意思を反映してご記入をお願いします。
- ご記入いただいた調査票は、**11月4日(金)までに**、同封の返信用封筒に入れてご返送ください。切手は不要です。
- 調査結果は、南丹市ホームページ (<http://www.city.nantan.kyoto.jp>) などで公表します。

この調査に関するお問い合わせ先

南丹市 定住・企画戦略課 TEL (0771)68-0003 内線 1313

各質問をお読みいただき、ご自身の率直なお気持ちやお考えに最も近い答えをひとつ選び、番号に○印をつけてください。

まず、あなたご自身について教えてください。（統計結果の分析に活用させていただきます。）

性 別	1. 男 性 2. 女 性			
年 齢	1. 18～19 歳 5. 50～59 歳	2. 20～29 歳 6. 60～69 歳	3. 30～39 歳 7. 70 歳以上	4. 40～49 歳
住 所	1. 園部町	2. 八木町	3. 日吉町	4. 美山町
職 業	1. 自営業・農林漁業 5. パート・アルバイト	2. 会社員・公務員など 6. 無 職	3. 学 生 7. その他（ ）	4. 家事専業
居住年数	1. 1年未満 5. 15～19年	2. 1～4年 6. 20年以上	3. 5～9年	4. 10～14年

南丹市全般についてお聞きます。



問1 あなたは、南丹市は住みやすいまちだと思いますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問2 あなたは、今後も南丹市に住み続けたいですか。

1. ずっと住み続けたい
2. 当分は住み続けたい
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

医療・福祉についてお聞きます。



問3 あなたは、南丹市において、安心して医療を受けられる体制ができていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

平成28年度 南丹市市民意識調査

問4 あなたは、南丹市は高齢者にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問5 あなたは、南丹市は障がいのある方にとって、安心して暮らせるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

子育てについてお聞きます。



問6 あなたは、南丹市は安心して子育てのできるまちだと思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問7 あなたは、南丹市の子どもたちが、児童数や生徒数、施設の状況も踏まえ、適切な教育環境で学んでいると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問8 あなたは、南丹市の保育所や幼稚園などで行われている乳幼児への保育・教育が、充実していると思われませんか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

商業や生活環境についてお聞きします。



問9 あなたは、南丹市の商店街（商業）はにぎわっていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問10 あなたは、南丹市で生産された野菜や加工品などの産品を意識して購入されていますか。

1. 購入している
2. どちらかといえば購入している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば購入していない
5. 購入していない

問11 あなたは、南丹市において、自然環境が適切に守られていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問12 あなたは、南丹市が発行する広報誌やホームページ、CATVなどを通じて、市政について情報が的確に得られていると感じられますか。

1. 得られていると感じる
2. どちらかといえば得られていると感じる
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば得られていないと感じる
5. 得られていないと感じる

防災や防犯についてお聞きします。



問13 あなたは、災害に関する情報について、市からの確に発信される体制が整備されていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 14 あなたは、台風や地震などの災害にそなえて、避難場所や避難経路の確認、避難用具の準備などをされていますか。

1. つねに避難できるよう準備している
2. ある程度準備している
3. 意識はしているが、準備はしていない
4. まったく準備していない

問 15 あなたは、南丹市が防災の面で、安心して暮らせるまちだと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

社会問題についてお聞きします。



問 16 世の中には、まだまだ性別や国籍、身体的障がいなどによる差別が残っていますが、あなたは、近年南丹市において、これら差別が減ってきていると感じられますか。

1. 減ってきていると感じる
2. 多少減ってきていると感じる
3. どちらともいえない
4. あまり減ってきていないと感じる
5. 減ってきていないと感じる

問 17 あなたは、過去 1 年間に、人権問題に関する勉強会、学習会、講演会、セミナーなどに参加されたことがありますか。

1. 何度も参加したことがある
2. 一度は参加したことがある
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

地域活動についてお聞きします。



問 18 あなたは、南丹市が住民と行政が協働してまちづくりに取り組んでいると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 19 あなたは、過去 1 年間で、地域におけるさまざまな活動や、市民による自主的な活動に参加されたことがありますか。

1. ほとんど参加した
2. ときどき参加した
3. 参加したかったができなかった
4. 参加していない

上記の間で 1 または 2 とお答えになった方にお伺いします。活動される際に、NPO やボランティア団体、地域団体に参加されましたか。

1. 参加した
2. 参加しなかった

「参加した」とお答えになった方にお伺いします。差し支えなければ、団体名や団体の種類、活動内容について教えてください。

※お答えいただきました内容について、個人が特定されることは一切ございません。

(団体名)

(団体の種類)

1. NPO
2. ボランティア団体
3. 地域団体
4. その他 (団体の種類:)

(活動内容)

問 20 あなたは、地域で培われてきた風俗や伝統、文化などについて、ご自分たちが引き継いでいかなければならないと思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 21 あなたは、ご自分の住んでいる地域において、さまざまな分野における、大学などとの交流・連携が活発に行われていると思われますか。

1. 活発に行われている
2. ある程度行われている
3. どちらともいえない
4. あまり行われていない
5. 全く行われていない

行政活動についてお聞きします。



問 22 あなたは、市民の税金が南丹市のまちづくりに効果的に活用されていると思われますか。

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらともいえない
4. どちらかといえばそう思わない
5. そう思わない

問 23 あなたは、南丹市への定住を促進するためには、どのようなことに力を入れるべきとお考えですか？ 《3つまで選んでください》

- | | |
|---------------------------------|-------------------|
| 1. 就職・就農の支援 | 2. 低廉な住宅・土地の整備・提供 |
| 3. 公共交通機関の充実 | 4. 良好な自然環境の保全 |
| 5. 子育て環境の充実 | 6. 医療や福祉面の充実 |
| 7. 防犯・防災の安心度の充実 | 8. 学校教育などの教育環境の充実 |
| 9. 観光・交流の充実 | 10. 商業とにぎわいの創出 |
| 11. 都市機能の整備 | 12. 芸術・文化の振興 |
| 13. その他（ ） | |

問 24 あなたは、総合的に見て、南丹市が行っている市政運営をどう評価されますか。

1. 評価している
2. どちらかといえば評価している
3. どちらともいえない
4. どちらかといえば評価していない
5. 評価していない

上記の問で、4または5とお答えになった方にお伺いします。どのような点を評価していないですか。具体的にお教えてください。

A cartoon illustration of a female teacher with brown hair, wearing a black blazer over a white shirt, sitting at a desk. She is smiling and pointing her right index finger upwards. A male student with black hair, wearing a green shirt, is sitting next to her, resting his chin on his hand and looking at an open book on the desk. Another open book is on the desk in front of the teacher.

問 25

- 問 26

問 26

- 10

問 27 あなたが、『地域のまちづくりに参加する』とすれば、どのようなことができると思いますか。
《3つまで選んでください》

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動 | 2. 森林や河川など自然環境の保護活動 |
| 3. リサイクル活動や省資源活動 | 4. 地域の交通安全や防災・防犯活動 |
| 5. 食や運動に関する健康づくり活動 | 6. 高齢者や障がい者を介助・支援する活動 |
| 7. 育児ボランティアなど、子育て支援活動 | 8. 子どもや青少年の健全育成活動 |
| 9. 生涯学習やスポーツ活動の指導・支援 | 10. 文化・芸術活動の指導・支援 |
| 11. 歴史や伝統行事などを守り育てる活動 | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特にない | |

問 28 あなたが、もし市外の人に、南丹市に定住することを勧めるとしたら、南丹市にはどんな魅力があると紹介しますか。《3つまで選んでください》

1. 就職先や就農先があり、働く場所は確保できる
2. 住宅や土地が低廉であり、居住費が比較的安い
3. 道路や交通機関が充実しており、都心部にもアクセスしやすい
4. 自然環境が良好で、山や田畑、河川などが素晴らしい
5. 子育てしやすく、子どもたちが明るく育つまちである
6. 医療や福祉が充実しており、健康面で安心できる
7. 災害に強く、犯罪や事故もなく、防犯・防災面で安心できる
8. みんなで支え合う地域コミュニティが活発である
9. 大勢の来訪者が訪れる観光のまちである
10. ごみは少なく、リサイクル活動にも積極的なまちである
11. 情報基盤などの都市機能が整備されている
12. 芸術や文化が振興しており、スポーツもさかんなまちである
13. その他（

）

問 29 南丹市の魅力を市外の人に紹介するために、具体的に何をすればよいと思いますか。
《3つまで選んでください》

1. イベントを増やし、そこで南丹市の魅力を伝える
2. 南丹市の魅力を知ってもらえるようなツアーを企画する
3. 南丹市ならではの食べ物や工芸品など、南丹市ブランドを作成・PRする
4. 新聞やテレビで特集を組んでもらい、メディア上で魅力を伝える
5. 南丹市と縁のある有名人に協力してもらう
6. 南丹市のロゴマークやキャッチコピーを作成する
7. 南丹市の魅力を伝えるためのホームページを作成する
8. プロモーションビデオを作成し、インターネット上で公開する
9. 市内企業や各種団体とのコラボレーションによって、南丹市の魅力を紹介する
10. 南丹市の歴史や伝統などを活用した取組を行う
11. 南丹市の自然環境を活用した取組を行う
12. その他（

）

南丹市の魅力を市外の人に紹介するアイデアなどがあれば、具体的に教えてください。

問 30 あなたにとっての南丹市をひと言で自由に表現してください。また、理由も教えてください。

南丹市をひと言で表現すると…

(理由)

南丹市のまちづくりに対するご提案や、ご意見をお聞かせください。

※この調査の性格上、頂いたご意見に対し、個別の回答はいたしかねますのでご了承ください。

アンケートは以上です。

お忙しいところ、ご協力いただき誠にありがとうございました。